

平成21年度

タウンミーティング

「市長と語る」

の

記 録

八王子市 総合政策部 広聴広報室



## はじめに

市長が各地域に出向いて、市民の皆様と膝を交えて、市政についてのご意見・ご提案等をお聴きする“タウンミーティング「市長と語る」”も、今年で10年目を迎えました。

このタウンミーティングは、市長による市政報告とともに、参加された市民の皆様からいただいたご意見、ご提案に直接回答するなど、市民と行政が手を携えてまちづくりを考える大切な機会として、「市民が主役」のミーティングを展開しているものです。

今回は「ふれあい・支えあい・助けあい ～ご近所づきあいで築くまちづくり～」をテーマに開催し、御近所同士が支えあう力を活用したまちづくりについて、皆様のアイデアを市長に御提案いただきました。

また、今年も本市のテーマであります「音楽のまち」を目指して、市民の皆さんに音楽に接していただく機会を増やすため、ガスパール・カサド国際チェロ・コンクール実行委員会・NPO法人チェロ・コンサートコミュニティーと、市の協働により「ミニコンサート」を実施しました。

# 目 次

## はじめに

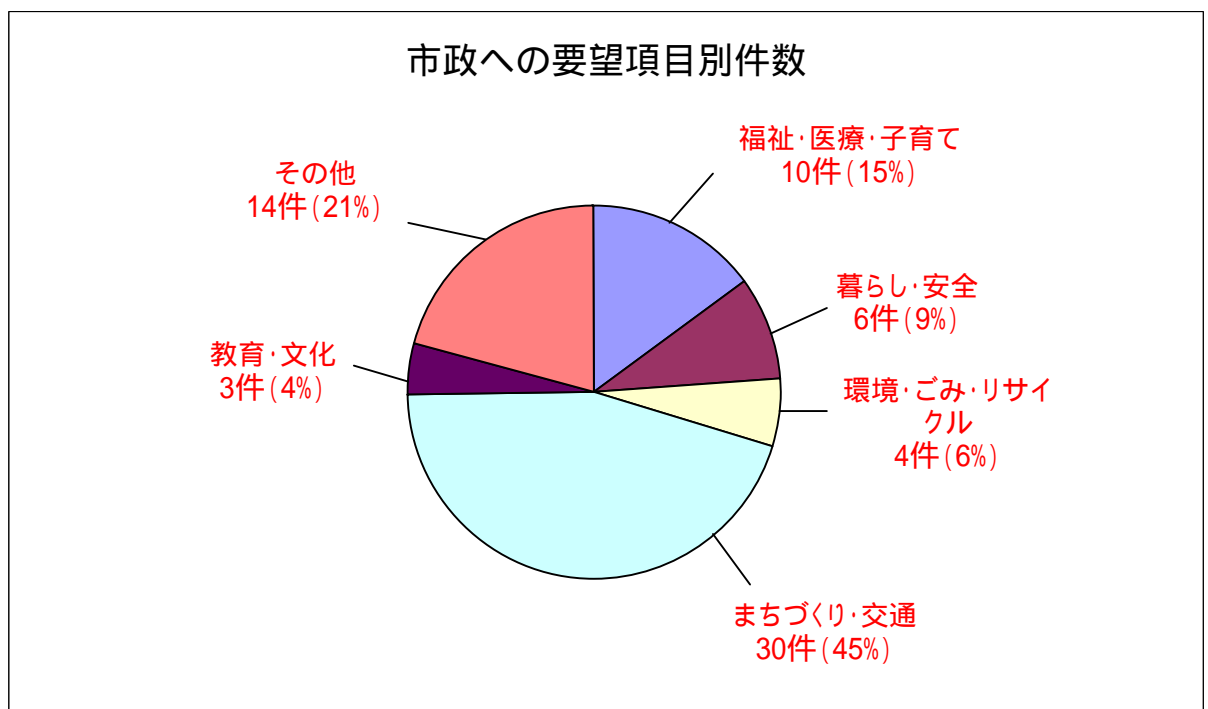
1. テーマ	1
2. 要望等項目別件数	1
3. 各会場の実績	2
4. 所管別内容	
(1) 所管別件数一覧表	2
(2) 所管別件名一覧表	3
5. 要望、市長答弁要旨及び担当所管	
中央地域（台町市民センター）	6
東部地域（由木中央市民センター）	9
東南部地域（北野事務所）	13
西南部地域（浅川市民センター）	16
西部地域（元八王子市民センター）	21
北部地域（加住市民センター）	24
6. 過去の提案等取り組み状況	28
7. 会場配布資料	36
8. 開催案内チラシ	40
9. チェロミニコンサート開催日程	41

## おわりに

1. テーマ ふれあい・支えあい・助けあい  
 ~ご近所づきあいで築くまちづくり~

2. 要望等項目別件数

開催日	会場	地域	地区	福祉・医療・子育て	暮らし・安全	環境・ごみ・リサイクル	まちづくり・交通	教育・文化	その他	合計
5月16日	台町市民センター	中央	本庁	0	0	0	10	1	2	13
5月23日	由木中央市民センター	東部	由木 由木東 南大沢	2	3	1	3	0	4	13
5月30日	北野事務所	東南部	由井 北野	0	2	1	4	1	1	9
6月13日	浅川市民センター	西南部	浅川 横山 館	3	1	2	7	0	3	16
6月20日	元八王子市民センター	西部	元八王子 恩方 川口	4	0	0	3	0	1	8
6月27日	加住市民センター	北部	加住 石川	1	0	0	3	1	3	8
合計				10	6	4	30	3	14	67



### 3. 各会場の実績

開催日	会場	地域	地区	参加者数 (人)	発言者数 (人)	発言項目 数(件)
5月16日	台町市民センター	中央	本庁	90	11	13
5月23日	由木中央市民センター	東部	由木 由木東南 南大沢	91	9	13
5月30日	北野事務所	東南部	由井 北野	120	9	9
6月13日	浅川市民センター	西南部	浅川 横山 館	162	14	16
6月20日	元八王子市民センター	西部	元八王子 恩方 川口	91	6	8
6月27日	加住市民センター	北部	加住 石川	88	7	8
			合計	642	56	67

### 4. 所管別内容

#### (1) 所管別件数一覧表

部名	件数	部名	件数
総合政策部	3	環境部	5
市民活動推進部	11	まちづくり計画部	9
総務部	7	まちなみ整備部	12
生活安全部	6	南口再開発推進室	1
市民部	2	道路事業部	8
健康福祉部	16	学校教育部	3
産業振興部	5	生涯学習スポーツ部	3
		合計	91

## (2) 所管別件名一覧表

総合政策部		3件
発言番号	発言項目	開催日
13	現市民会館跡地利用	5月16日
21	事務所統廃合について	5月23日
26	事務所統廃合について	5月23日

市民活動推進部		11件
発言番号	発言項目	開催日
8	町会管理の防犯灯から市管理の街路灯への切替等について	5月16日
13	現市民会館跡地利用	5月16日
17	防災訓練(防災キャンプ)への協力について	5月23日
29	障害者の防災訓練参加について	5月30日
31	子安市民センターの利用時間延長を	5月30日
47	市職員の地元への貢献度評価について	6月13日
48	災害対策や防犯のために、住民の把握と町会・自治会の活用	6月13日
52	関東太鼓合戦出場枠と和太鼓への市の支援について	6月20日
54	自治会へ経済的支援を	6月20日
61	市管理職による地域サポーター制度を提案	6月27日
67	官吏施設等々の減少と市民の自信	6月27日

総務部		7件
発言番号	発言項目	開催日
9	八王子市歌について	5月16日
14	FM由木(南八王子)の開設について	5月23日
24	鹿島地域を多摩市にしてほしい	5月23日
47	市職員の地元への貢献度評価について	6月13日
60	パソコントレード等の公的講習が受けられる場を	6月27日
61	市管理職による地域サポーター制度を提案	6月27日
62	職員の市民、職員相互への挨拶励行を	6月27日

生活安全部		6件
発言番号	発言項目	開催日
17	防災訓練(防災キャンプ)への協力について	5月23日
19	松が谷地域の安全ボランティアについて等	5月23日
29	障害者の防災訓練参加について	5月30日
30	災害時一人も見逃さない運動とマップの保管場所	5月30日
38	高尾山の急病人へ救命ボランティアの活用を	6月13日
43	不法投棄 管理カメラ作動中の看板設置	6月13日

市民部		2件
発言番号	発言項目	開催日
28	免許証返納と身分証明や交通費補助	5月30日
46	初沢町の地番整理について	6月13日

## 健康福祉部

16件

発言番号	発言項目	開催日
15	AED設置の補助について	5月23日
18	災害時の独居老人安否確認について	5月23日
20	一民生委員からみた地域の状況と行政のかかわりについて	5月23日
28	免許証返納と身分証明や交通費補助	5月30日
29	障害者の防災訓練参加について	5月30日
30	災害時一人も見逃さない運動とマップの保管場所	5月30日
36	散田町の水路改修について	6月13日
40	老人クラブの活性化について	6月13日
41	老人会への助成金について	6月13日
48	災害対策や防犯のために、住民の把握と町会・自治会の活用	6月13日
51	民生委員の調査結果の町会等提供	6月13日
53	子どもを持たない人へ経済支援を	6月20日
57	都立小児病院の存続を	6月20日
58	民生委員の人員確保を	6月20日
59	ドクターカーの配置を	6月20日
63	町会自治会への老人情報の公開の必要性について	6月27日

## 産業振興部

5件

発言番号	発言項目	開催日
6	ユーマンロードの早期完成について	5月16日
49	山の有償ボランティアについて	6月13日
50	目減りする通貨について	6月13日
60	パソコントレード等の公的講習が受けられる場を	6月27日
66	高尾山のトイレ設備の充実を	6月27日

## 環境部

5件

発言番号	発言項目	開催日
22	里山の保全について	5月23日
32	八王子市の温暖化対策について	5月30日
36	散田町の水路改修について	6月13日
39	小金井市ごみ処理場への支援について	6月13日
43	不法投棄 管理カメラ作動中の看板設置	6月13日

## まちづくり計画部

9件

発言番号	発言項目	開催日
10	リニア中央新幹線誘致について	5月16日
25	開発行為への市の規制について	5月23日
34	多摩御陵周辺にはちバスを	5月30日
37	高尾駅南北通路の無料化]	6月13日
42	高尾駅南北自由通路について	6月13日
44	路線バス運行要望	6月13日
45	圏央道に伴う裏高尾地区の環境問題について	6月13日
55	松枝橋の改良工事について	6月20日
56	高尾駅の南北通路について	6月20日



## まちなみ整備部

12件

発言番号	発言項目	開催日
1	小門公園でのボール遊び禁止について	5月16日
2	台町4丁目の立体交差、歩道部分完成予定について	5月16日
3	上野町第二地区の区画整理について	5月16日
4	一方通行道路について	5月16日
5	ずい道の名前の付け方について	5月16日
11	小門公園でのボール遊び禁止について	5月16日
16	公園アドプト制度の見直しについて	5月23日
19	松が谷地域の安全ボランティアについて等	5月23日
23	野菜作りのスペースについて	5月23日
33	公園の巨木の根について	5月30日
35	片倉つどいの森公園周辺整備について	5月30日
46	初沢町の地番整理について	6月13日

## 南口再開発推進室

1件

発言番号	発言項目	開催日
7	同じ税金を払っているのに、平均的に街を綺麗にして欲しい	5月16日

## 道路事業部

8件

発言番号	発言項目	開催日
6	ユーマンロードの早期完成について	5月16日
8	町会管理の防犯灯から市管理の街路灯への切替等について	5月16日
27	片倉町内みなし道路の舗装について	5月30日
28	免許証返納と身分証明や交通費補助	5月30日
32	八王子市の温暖化対策について	5月30日
36	散田町の水路改修について	6月13日
64	道路の拡張	6月27日
65	下戸吹交差点の手押し信号を自動信号に	6月27日

## 学校教育部

3件

発言番号	発言項目	開催日
1	小門公園でのボール遊び禁止について	5月16日
17	防災訓練(防災キャンプ)への協力について	5月23日
19	松が谷地域の安全ボランティアについて等	5月23日

## 生涯学習スポーツ部

3件

発言番号	発言項目	開催日
11	小門公園でのボール遊び禁止について	1月3日
12	市民球場を子どもへ	5月16日
60	パソコントレード等の公的講習が受けられる場を	6月27日

## 5. 要望、市長答弁要旨及び担当所管

(発言者敬称略)

【中央地区】

平成 21 年 5 月 16 日(台町市民センター)

発言 番号	要望要旨 (発言者)	市長答弁要旨	担当所管
1	<p>【小門公園でのボール遊び禁止について】</p> <p>小門公園に突然「野球禁止」という張り紙が張られたが、それでは困る。なぜかという、小学校 6 年生は毎日 6 時間授業なので、帰りが 4 時ごろになる。そのあと、野球ができる公園に行こうとすると、遠くてただ単に行って帰るだけになってしまう。それに、遠くへ行ったことがないので、全員が集まれるか分からない。通っている第七小学校でも、硬いボールやバットを使用する遊びが禁止されているので、近くの公園でしかやることが出来ない。そうしたことから、小門公園のネットの穴を直すなどの整備をして野球ができるようにしてほしい。子供たちが、自主的に遊べる場所を確保して欲しい。</p> <p>(木口屋 啓太)</p>	<p>私も野球は大好きなので気持ちはよく分かるが、公園と言うのは皆さんで使うものである。硬いボールでやるとほかの人たちに危険が生じるので、難しい。町の中でそういったことをやること自体が、現実的に厳しい。今現在は、野球ができない公園のほうが多いくらいである。学校でもだめだということであれば、おそらく先生の目の届かないところで何かあると困るということだと思う。その辺は、保護者の責任で何とかするとなれば、解決できるような気もする。ただ、突然使えなくなったとしたら何か市のほうに要請があったかもしれないので、その辺りは調べてみる。解決策としては、地元の方たちと話し合っ、時間帯でできる期間を区切るのも、いい方法だと思う。その辺りも、市として地元の方の意見を聞くなどの対応をしていきたいと思う。ネットについても、状況をよく調べて対応したい。</p>	<p>まちなみ整備部 学校教育部</p>
2	<p>【台町 4 丁目の立体交差、歩道部分完成予定について】</p> <p>台町四丁目の車道部分、線路の車道の部分が立体交差になり、車両の通行は踏切待ちがなく大変便利になった。しかし、歩道部分がまだ未完成で、歩行者や自転車の人は工事中のため、大変迷惑である。この工事はいつ完成する予定か。地元の人たちは、何も聞かされていない。それから、この立体ができて便利になったのですが、八幡町のほうへ出られなくなってしまったのでなんとかならないか。</p> <p>(田倉 栄一)</p>	<p>8 月には全部完成する。地元の方たちが、知らないということであれば、そこへ説明を書くようにする。八幡町のほうへ出られなくなったことについては、担当で検討したい。それでも、ある程度の我慢はお願いするかもしれない。</p>	<p>まちなみ整備部</p>

発言番号	要望要旨 (発言者)	市長答弁要旨	担当所管
3	<p>【上野町第二地区の区画整理について】 上野町第二地区の区画整理はいつごろに完了する予定か。</p> <p>(田倉 栄一)</p>	<p>上野町第二地区の区画整理については、移転が95.1%済んだ。23年で全部完了する。</p>	まちなみ整備部
4	<p>【一方通行道路について】 この坂の下のセブンイレブンの脇の道路が一方通行なので、いろいろと不便である。何とか交互交通にならないか。</p> <p>(田倉 栄一)</p>	<p>これはいままで一方通行のときは4メートルだったが今度区画整理で幅6メートルになったので、当然これは交互通行ということになる。沿道の皆さんと、それから道路の交通管理者である警察のほうと協議をして、そして協議が整えば一方通行を解除して相互通行にしたいと思っている。時期は申し上げられないが、進めている。</p>	まちなみ整備部
5	<p>【ずい道の名前の付け方について】 踏切が立体になったが、ずい道の名前を付けてあるみたいですが、これはどういうふうな意味で名前をつけたのか。</p> <p>(田倉 栄一)</p>	<p>ずい道の名前、立体の名前については、「桜横町立体」ということになった。これはいままで、踏切の名前が「桜横町踏切」だった。この「桜横町」という名前が定着していたからその踏切が立体化したということで、「桜横町立体」とした。</p>	まちなみ整備部
6	<p>【ユーミンロードの早期完成について】 ぜひユーミンロードを完成してほしい。八王子の名物として何か大きな印象付けるものがほしい。現在、午後1時になると荒井由実さんの、音楽が流れる。あれがもっと派手に駅のほうに伝わってくれば、もっと大人もよりそう町になってくれるかなと思う。</p> <p>(天野 喜久男)</p>	<p>何かユーミンさんとの縁が感じられるものがあるような道路でないと難しいと思う。道路の名前は非常に難しい。そこが、縁があることが皆様に理解され納得された上で、定着するように考えていければいいと思う。</p>	産業振興部 道路事業部
7	<p>【同じ税金を払っているのに、平均的に街を綺麗にして欲しい】 八王子駅って北と南口と、見た目の印象がものすごく違いすぎるので、平等に今回の開発と同時にもっともときれいにしたいと思う。南口の再開発の46階の建物は4階以上がマンションとは聞いているが、下にはどんな商業関係が入ってくるかを細かく知りたい。</p> <p>(天野 喜久男)</p>	<p>それぞれの市でそこに合わせた造りというのが重要だと思う。北と南が提携した賑わいがあるものができればいいと考える。基本的には地権者がやる事業になるので市は指示を出せない。今現在決まっていることは、1階は金融機関と医療機関が入る。それから、市の施設として今ある駅前の事務所の機能の幅を広げたものが入る。その他は、まだ決まっていないが、夏までには発表されると思う。</p>	南口再開発推進室

発言番号	要望要旨 (発言者)	市長答弁要旨	担当所管
8	<p>【町会管理の防犯灯から市管理の街路灯への切り替え等について】</p> <p>街灯について。現在長房町の船田町会の街灯のうち町会が設置しているものが多いので、町会費と市の補助だけでは維持が相当厳しい。しかし、防犯上の点からも減らすわけにはいかないの、市所有の街灯等を増やして欲しい。 (早川 満)</p>	<p>市の補助金は2分の1ということで皆さんにご理解いただいている。町会自治会にみなさんがぜひ入っていただいて、みなさんで支えあっていって欲しいと思っている。その辺りは、申し訳ないがよろしく願います。</p>	市民活動推進部 道路事業部
9	<p>【八王子市歌について】</p> <p>八王子市歌は、作詞が北原白秋、作曲が山田耕作でテンポがよく、力強く朗らかなすごくいい歌なので、市民が集まるときに流して欲しい。 (早川 満)</p>	<p>今までもさまざまな機会に流すようにしていた。しかし、皆様に知っていただくのは非常に難しい。そういった現状もあるが、貴重なご意見として受け止めたいと思う。</p>	総務部
10	<p>【リニア中央新幹線誘致について】</p> <p>リニア中央新幹線を市に誘致することにもっと力を入れて欲しい。相模原市はすごく力を入れている。八王子も負けてはいけないと思う。 (早川 満)</p>	<p>これは非常に難しい問題である。ちょくちょく止まってはリニア新幹線にならないそうだ。山梨や、長野でも止まって欲しいという要望があることや、構造的な問題もあり、その兼ね合いが難しい。そういったことはあるが、念頭に入れておく。</p>	まちづくり計画部
11	<p>【小門公園でのボール遊び禁止について】 (木口屋啓太様の発言を受けて)台町4丁目のチームも苦労して野球等をしているが、この台町では子どもたちが野球をすることが非常に厳しい環境にある。そういった地域の特性を理解していただきたく思う。 (山口 慶介)</p>	<p>やはり、公園というのは野球だけではなくいろいろな使い方があり、兼ね合いも難しい。どこでも、練習場や試合場を探すのに苦心されており、保護者のワゴン車等で練習に連れて行っていただいているのが現実。私も応援するので知恵を出して欲しい。</p>	まちなみ整備部 生涯学習スポーツ部
12	<p>【市民球場を子どもへ】</p> <p>市民球場という素晴らしい公式球場があるので、子供たちに使ってもらえるようなアイデアがあれば教えてください。 (田倉 栄一)</p>	<p>公式の球場なので、高校野球の予選などでも使用している。最近、漸く、国体会場整備として、東京都から相当な補助を得て、スコアボードを電光掲示板に変えることができた。子供たちも大会では使用しているが、練習では維持の関係上申し分ないがなかなか難しい。</p>	生涯学習スポーツ部
13	<p>【現市民会館跡地利用】</p> <p>八王子駅南口に市民会館が移転した後、跡地はどうなるのか。今まで人がたくさん来ていて町の活性化にもなっていたので非常に気になる。 (斉藤 健光)</p>	<p>今のところは決まっていない。ただ、駐車場のあった場所については八王子消防署が移転したいとの強い要望が出ている。しかし、まだどうなるかわからない。</p>	総合政策部 市民活動推進部

発言 番号	要望要旨 (発言者)	市長答弁要旨	担当所管
14	<p>【FM 由木(南八王子)の開設について】</p> <p>「ふれあい」に関して、ラジオのFM放送、FM由木(南八王子)の開設をお願いしたい。住民の情報交換媒体として地域限定型の弱い出力のFM放送開設を市が主導となって検討を進めていただきたい。FM多摩のような既存の標準放送プログラムをベースに、地域限定の情報をところどころに入れて地域のコミュニケーションを図っていただきたい。運営は、マスコミに勤めたいという学生に依頼して運営費の削減を図ればよいと思う。</p> <p>(中村 史朗)</p>	<p>大変面白いと思うけれども、実現するのは難しいと思う。経営的にはものすごく厳しい。また、学生中心で運営すると、オープンする日にちや時間が決まってしまう。また、運営する学生が卒業していったら変わっても思いが伝わるかどうか等、問題点がある。基本的には民間の方々が、実際じゃあ少しずつでも出し合ってやろうじゃないかっていうような、気運が盛り上がれば、市としては積極的に応援をさせていただきたい。</p>	総務部
15	<p>【AED設置の補助について】</p> <p>「助けあい」について、AED自動体外式除細動器を8階建て168所帯の管理組合で購入したいというふうに今年度の予算に入れている。これへの補助をぜひ検討をお願いしたい。</p> <p>(中村 史朗)</p>	<p>市内の公共施設には学校等も含めてすべて設置をしている。民間の集合住宅への設置の補助というのは、率直に言って結論から言うとちょっと難しい。集合住宅というのは全24万世帯のうちの45%にもなり、大変な数になる。大変申し分ないが、管理費の中から常備するのが現実的。</p>	健康福祉部
16	<p>【公園アドプト制度の見直しについて】</p> <p>「支えあい」について、公園アドプト制度の見直し。八王子の南東地区については、現在指定管理者制度が導入されているが、実施のチェックがまず甘い。そこで、アドプト制度をもっと邁進させるためのひとつの方法として提案する。公園の一角を管理委託者(ボランティア)に任せてガーデニングをさせるというのはどうか。</p> <p>(中村 史朗)</p>	<p>今、地方自治法の改正により、コストやサービスの点で優れているとして指定管理者制度が導入されている。公園についても導入されているが、メリットもあるが行き届いていない点もあり、所管はどのようにカバーするか検討している。公園アドプト制度は、大変ありがたいし、参加をされる方も健康づくり等にも大変有益だと思っている。やはり地域の公園は、地域の皆さんに管理をしていただくのが一番。上手に組み合わせることは大事だと思う。</p>	まちなみ整備部

発言 番号	要望要旨 (発言者)	市長答弁要旨	担当所管
17	<p>【防災訓練(防災キャンプ)への協力について】</p> <p>夢あるまちづくり協議会で毎年行っている防災キャンプについて、来年度以降は、実際の避難場所である小中学校を使用したい。現在行っている一時避難場所ではなく、本当の避難所の防災倉庫の場所なども把握できるよい機会になると思う。</p> <p>現在は松が谷高校生の参加があるが、それ以外にも中学生にも積極的な参加促進をしていただきたい。災害時には高校生、中学生の力は重要になる。</p> <p>現在、炊き出しや傷害保険などで資金が必要なので、参加費をいただいている。防災にもかかわらず、有料というのは本来の意味から外れていると思うし、有料だと集まりにくい。何らかの市の援助をお願いしたい。</p> <p>地区ごとに防災訓練を行って欲しい。毎年9月1日に行っている防災訓練は市の中心部でしかやらないので、遠い人は参加が困難なので願います。</p> <p>(小林 道子)</p>	<p>について、そうなることが一番いいと思う。しかし、その辺は学校の管理者や校長の考え方などによると思うが、御希望に沿えるようにしていきたいと思う。</p> <p>については、何でもかんでも市ということはありませんと思うので、しょうがないのではないかと思います。多少の負担をしても、やることで価値があるものになると思う。</p> <p>について、現在そういった防災訓練を行っている。ただ、市内が広いのでなかなか回ってこないのだと思う。いま自主防災組織というのが、町会の約7割近く結成されている。ぜひ自主防災組織をまだできてないところは作っていただきたい。それには市が一定の支援をしている。</p>	生活安全部 学校教育部 市民活動推進部
18	<p>【災害時の独居老人安否確認について】</p> <p>民生委員が、災害時に独居老人に安否情報の確認ができるシステムを検討して欲しい。</p> <p>(小林 道子)</p>	<p>そういったことは、重要であると思う。町会にも入らないような方がいても、粘り強く、地域とかかわりを持ってもらうようお願いしていくことが必要だと感じている。地域の組織力向上のためいろいろ工夫したい。</p>	健康福祉部
19	<p>【松が谷地域の安全ボランティアについて等】</p> <p>地域で落書きを見つけると市に連絡して消してもらっている。いつも7ヶ所以上あったが、だいぶ少なくなった。</p> <p>デリバリーランチは手頃な価格で大変助かっている。牛乳とお弁当を子供は喜んで食べている。</p> <p>学校安全ボランティアを7年間している。腕章をしていると全然知らない人と挨拶ができたり声をかけられるようになった。</p>	<p>落書きの状況は一時より少し良くなった。そういうものを放置するとどんどん悪化するので、地域で処理できない時はすぐに連絡して欲しい。デリバリーランチは、喫食率が37%程度なので、多くの方がお弁当を持ってきているのだと思う。それは、人によって食べる量が違うのでそうなのだと思います。安全ボランティアを7年間も御協力いただき大変ありがたい。現在、安全ボランティアは小・中学校合計で1万800名であり、大変感謝し</p>	まちなみ整備部 学校教育部 生活安全部

発言 番号	要望要旨 (発言者)	市長答弁要旨	担当所管
	<p>た。地域の人たちに挨拶することが一番「ふれあい・支え合い・助けあい」だと思う。安全ボランティアのメンバーにもやっていただきたい。</p> <p>(白水 嘉奈子)</p>	<p>ている。恥ずかしながらに誇りを持ってやっていただきたい。腕章のデザインももっといいデザインがあればぜひ提案してほしい。</p>	
20	<p>【一民生委員からみた地域の状況と行政のかかわりについて】</p> <p>民生委員として、毎年社会福祉協議会の依頼によって高齢者実態調査を実施している。高齢者福祉サービス推進の基礎資料とするほか、災害時にお年寄りや障害者の中の一人暮らしや寝たきりの方を見逃さないようにするために活用しているが、最近、個人情報保護やプライバシーに非常に敏感な方が増えて調査が難しくなっている。さらに、オートロックのマンションが増えたことで、訪問することができず調査ができないこともある。市で何か支援策を検討していただけないか。</p> <p>(坂本 睦枝)</p>	<p>民生委員として大変御協力をいただき、大変ありがたく思っている。個人情報保護の行き過ぎの点や、集合住宅が多くなっているところでは、地域のコミュニケーションが取れなくなっている状況には非常に困っている。民生委員さんの御苦労もよく承知している。やはり、地域で支え合うことが大切であると思う。最近、市としては、「民生委員のお仕事について」を広報に載せたばかりだが、上手くPRしていきたい。今後、市と社会福祉協議会、民生児童委員協議会で連携を取りながらよりよい対応策を考えてまいりたいと思う。</p>	健康福祉部
21	<p>【事務所統廃合について】</p> <p>以前、市の事務所が6ヶ所に統合される計画を聞いたとき、大変心配したが、市長はこれから住民の意見を聞いて実施すると聞き安心していた。その後、由木と由木東の事務所については存続の方向だと聞いた。その決定が発表されるのはいつか。</p> <p>(里吉 正昭)</p>	<p>この問題については由木地区の皆さんが、地形的にも、町の成り立ちというような点からもデリケートであることは承知している。今までも話したとおり、単純に統廃合をするというようなことで皆さんが不利益を被るということは、私はするつもりはまったくない。地域の実態に合わせたサービス向上を目指した対応をしてみたいので御安心いただきたい。</p>	総合政策部
22	<p>【里山の保全について】</p> <p>「堀之内寺沢里山公園」が東京都環境局により里山保全地域指定という形で地域指定を受けた。私も農業者として計画に参画してURに助言したりもしてきた。市にも行政としてこういう地域環境保全活動の後ろ盾となって欲しい。</p> <p>(鈴木 亨)</p>	<p>里山保全を中心に八王子の環境を大事にしようというお話、そのことは大切なことだと思う。地元の方たちと協力して、積極的に取り組んでいきたいと思う。実は、定額給付金が要らないという人は、是非、緑地の保全をするための基金に寄付してほしいというお願いもしている。19住区の東山地区については、私共も、このまま自然を最大限残すようがんばってきた。一緒に皆さんとですね、力を、知恵を出し合っていていい環</p>	環境部

発言 番号	要望要旨 (発言者)	市長答弁要旨	担当所管
		境のまちづくりを進めていきたいと思っている。	
23	<p>【野菜作りのスペースについて】</p> <p>野菜などの栽培のためにいろいろな公園や空きスペースを貸し出して欲しい。</p> <p>(井上 光子)</p>	公園アドプト制度などもそうだが、地域の皆さんと一緒にやっていくのは重要なことだと思う。現在は、市民農園もあり貸し出しを行っている。	まちなみ整備部
24	<p>【鹿島地域を多摩市にしてほしい】</p> <p>鹿島からいろいろなイベントがあっても行きにくいので、多摩市にしてしまったほうがいいのではないか。</p> <p>(井上 光子)</p>	簡単にはいかないことだ。どこにでも端はあると思うので、共に協力してやっていけるように御協力をお願いする。	総務部
25	<p>【開発行為への市の規制について】</p> <p>大型のマンションが建設されるとき、ディベロッパーにより住民に説明会が実施されるがそこでの意見が通りにくいので、あらかじめ市として何らかの対処をして欲しい。</p> <p>(下村 憲治)</p>	市として誠実に対応するようという指導をしているが、言うことを聞いてくれないディベロッパーもいる。それでも、今後とも強い指導を続けて行きたいと思う。	まちづくり計画部
26	<p>【事務所統廃合について】</p> <p>自動交付機と顔が見えるサービスの関係についての考え方の説明をお願いします。高齢者だと、機械が苦手という方もいると思う。事業所の統廃合についてのプランの進行状況を明示して欲しい。情報公開が遅れているのではないかと思う。</p> <p>(大田 努)</p>	事務所統廃合については、皆さんが納得していただけるような、道を探していきたいということで時間をかけて意見を聞いて行っている。顔が見えるサービスと自動交付機は両方重要だと思う。それでも顔が見えるサービスが最も重要だと思う。情報公開については、市民一人一人が常にすべての情報を知ることが難しいと思う。広報等で公開すべきものはきちんと公開をしているが、人により、時により記事への関心も違う。必要な情報を様々な機会で知ることができると思う。	総合政策部



発言 番号	要望要旨 (発言者)	市長答弁要旨	担当所管
27	<p>【片倉町内みなし道路の舗装について】</p> <p>片倉町の中で大変交通量の多い場所でまだ砂利道のところがある。自転車なんか降りると砂利道だから大変危険だ。今年、1月14日に私の前任会長名で、要望書を出してある。みなし道路という形の中で舗装をお願いしたい。調べていただければわかるが、通行量大変多い。そういうことをお願いしたい。</p> <p>(河合 捷)</p>	<p>前会長の名前で要望書もいただいている。それから現場、見ていないが、数枚の写真で、現地の状況をよく承知している。結論から言うと、舗装するように努めたい。隣接の方の御理解を得られないと、できないというのは、やはり原則である。私道だから、原則的にはそういうことになっている。</p>	道路事業部
28	<p>【免許証返納と身分証明や交通費補助】</p> <p>私、47年運転していて、73歳になる。もう運転しないほうがいいと言われて、運転していない。ただ身分証明だとか、免許証を返すことによって、他市ではバス代とかをいくらか年間あげるとかというお話を聞いている。市では考えているかを聞きたい。</p> <p>(小野澤 邦男)</p>	<p>免許証を返上した場合に、市としての特典というのは設定していない。ただ、東京都や警視庁がいろんなことをやっている。八王子でなぜやらないか。例えば、シルバーパスが八王子の場合は使える。そういう実状で、特に設けていない。身分証明、これは確かに必要だと思う。ぜひ住民基本台帳カード、500円いるが、写真も入って、電子チップも入っていて、完全に身分証明になる。これを御利用いただければと思う。</p>	市民部 道路事業部 健康福祉部
29	<p>【障害者の防災訓練参加について】</p> <p>去年と今年、防災訓練に参加した。大変勉強になった。特に、昨年、課題別訓練。長房町会の方たちと一緒に訓練をした。見るだけでなく障害を持っている者が健全な方と一緒にコミュニケーションしながら訓練できるような企画をつくってもらえれば大変ありがたかった。外国の方も参加するような訓練の方法をやってもらえると、ありがたい。地震の多いアジアの地域の行政の方たちを招いて、自分の地域の市民は自分たちで守るという方法を学びあう、啓発のための勉強ができるように、八王子がまずリーダーシップを取っていただければ大変喜ばしい。</p> <p>(宮本 一郎)</p>	<p>今年は総合防災訓練を、8月30日に予定している。ぜひ多くの要援護者の方に参加をしていただき、経験を積んでいただくことが大事なことだと思う。それぞれの地域での活動に参加され、そして一緒にそういった経験を積まれることが大事なことだと思う。市の防災課にお問い合わせいただければ、一緒に参加して、より大きな効果が出せるように、我々も取り計らいたいと思っている。八王子がモデルケースとなって、アジアの国々にも発信ができるようにという、大変前向きなお話。私どもも、目標にしていくべきだろうとは思っている。そのためには、いろんな経験を我々もして、そして積み重ねる、自助、共助が大事なことだろう。</p>	生活安全部 健康福祉部 市民活動推進部

発言 番号	要望要旨 (発言者)	市長答弁要旨	担当所管
30	<p>【災害時一人も見逃さない運動とマップの保管場所】</p> <p>八王子全体で「災害時一人も見逃さない運動」をやっていて、民生委員も一端を担っており、マップづくりをしている。マンション、アパートが非常に多い関係で、調査するというのは非常に困難だ。無理やりに、調査をするわけにいかない。マップから漏れている方が非常に多く、問題ではと思う。障害をお持ちの方がいられるお宅や、高齢者だけでお住いになっているお宅も、調査の対象にしたほうがいいのではないかと。また、マップの保管場所を、どこにしたら良いかが非常に問題だ。例えば、町会の自主防災会のほうに、お預けできたらいいんじゃないか。</p> <p>(阿久津 稔)</p>	<p>いま集合住宅も多くなっており、人口が密集しているところでは、なかなか情報が得にくい。しかし、災害時などに一人暮らしの方とか、あるいは障害のある方が、どこの御家庭におられるというようなことが、少なくとも民生児童委員の皆さんが承知をしておられるということは、すごく大事なことだろうと思っている。マップづくりも18年から御協力いただいて、ここで出来上がる。それを有効に活用していただくということは、大事なことだが、どう保管するか。確かにお話があったように、難しい問題だ。その点も含めて十分に検討して、マップが作られても、必要な人の手に入らないようじゃ意味がない。よく考えて作ったものが、十分に活用されるように、体制を整えたいと思う。</p>	生活安全部 健康福祉部
31	<p>【子安市民センターの利用時間延長を】</p> <p>私は北野町に住んでいるが、最寄りに子安市民センターがある。一番近いが、利用時間が少なく、限られてしまっていて、なかなか借りに行けない。子安市民センターでの利用時間が増えたらなと思っている。</p> <p>(福島 貴子)</p>	<p>子安市民センターの利用時間を延長できないかということだが、それぞれ市民センターは、地域の皆さんに運営していただいている。時間は、地域で決めていただいている。ぜひ、その時間内で御利用いただけるよう、御協力いただけたらと思う。</p>	市民活動推進部
32	<p>【八王子市の温暖化対策について】</p> <p>世界的に、CO<sub>2</sub>増加による温暖化ということで問題になっている。例えば、信号が八王子は非常に多い。車が通らないようなところでも、野猿街道だと、一斉に止めてしまう。茨城なんか行くと、みんな感應式になっている。信号の例をとって言ったが、八王子としてはどういう取り組みをしているのか、聞きたい。</p> <p>(佐藤 高見)</p>	<p>例えば、ごみ減量です。ごみの燃す量が減る、そういうところから、CO<sub>2</sub>が減らせる。また、公用車については、可能な限り入れ替えを、ハイブリッド車等に行っている。毎日走っている清掃車のハイブリッド化も、いま進めている。今年度も7台かな、予定している。毎年そのぐらいのペースで、進めている。1年間でどれだけ電気を使う量を減らしたかとか、CO<sub>2</sub>を結果として減らすことができたかとか、市民の皆さんにもやっていただいて、発表会をやって表彰したりしている。信号については、これは難しい問題だ。交通事故を減らすということも大</p>	環境部 道路事業部

発言 番号	要望要旨 (発言者)	市長答弁要旨	担当所管
		<p>事なこと。ですから、それは両面から考えなきゃいけない。(なぜ、感応式としていないか含め)野猿街道のところは、もう一度精査をしてみたいと思う。</p>	
33	<p>【公園の巨木の根について】 アドプト制度では、公園にある雑草を抜いたり、小さい木の剪定をしたりは住民の力でもできるが、巨大化した大木は何ともしがたいということで、一番困っているのは、足元だ。巨大化した木の根が、公園の中はかなりはみ出してしまって、公園の中が、平らなところなくなるぐらいに根が張ってしまった。市に何度か、この根を何とかしてほしいと、お願いはしている。何とか、ちょうどいい木になるようお願いをしたい。(廣本 洌)</p>	<p>公園アドプトに参加をしていただいて、地域の公園を守っていただいている。大変ありがたいと思う。確かに、木が大きくなって、上の枝は落とせるっていうことはあるが、根のほうは、難しい。私は、生き物は大切にしたいと思っている。でも、きちんと維持するには、必要なことの一つではある。しかし、しっかり根を張っているものを何とかしろと言われても、お気持ちはわかるが、難しい。ぜひ根と仲良く共生できるように、よろしくお願いします。</p>	まちなみ整備部
34	<p>【多摩御陵周辺にはちバスを】 多摩御陵の辺り、バスがなくて不便だと思う。多摩御陵の辺りは、はちバスが通ってない。また、その辺り周辺には高齢者の方がとても多く、歩いているのもよく見かける。多摩御陵に見学に行く人も、たくさんいると思う。はちバスなどがあればとてもいい。その地域に住まわれている高齢者の方のことも、考えていただけたらなというふうに思う。 (村下 益子)</p>	<p>はちバスをという声は、たくさんある。赤字額を一定限度に抑えられること、一定の利用者があるということを前提に、客観的に専門家の皆さんで検討をさせていただいて、路線を決めている。御要望は各地であるが、全てには、お応えし切れない。特に御陵辺りは、まだ、バス路線もある。バスがもうなくなってしまって、そして高齢化も進んでいるところの足をどう確保するかというのが、今、市として大きな課題になっている。必要なところには適切な対応をしてみたいというふうに思っている。</p>	まちづくり計画部
35	<p>【片倉つどいの森公園周辺整備について】 あと1年で「片倉つどいの森公園」が開設。東側に片倉城跡公園がある。赤道がありぜひ相談に乗って欲しい。南バイパスの高架下の部分が空くのでつどいの森公園専用の駐車場という位置付けで利用できないか。また、トンネルの上部の土地活用を、地域開放ができるように、御協力いただきたい。(尾川 利吉)</p>	<p>赤道の問題もそうだが、高架下が空いてくるわけで、いま協議している。ぜひ、活用できるようにがんばっていききたいと思う。それからトンネル上部の問題についても、どう活用できるか、これはぜひ知恵を出し合って、そしてお使いになるのは地元の皆さんですから、地元の皆さんに喜んでいただけるような、そんなことを考えていきたいと思う。</p>	まちなみ整備部

【西南部地域】

平成 21 年 6 月 13 日(浅川市民センター)

発言 番号	要望要旨 (発言者)	市長答弁要旨	担当所管
36	<p>【散田町の水路改修について】</p> <p>私たちの町には、住宅と道路の間に幅約 1メートルのオープンの水路があり、衛生上とても大きな問題がある。この水路のもっとも大きな問題は、一部分傾斜が逆勾配になっており雨がないと、水溜まりが発生する。藻が繁殖してボウフラがいっぱい出てきて、蚊の大群が出る。一時しのぎの手法を続けなくて、数年かかるだろうとは思いますが、ぜひきっちりとした調査と計画を、考えていただいて、抜本的な改善をお願いしたい。</p> <p>(関 淳次)</p>	<p>先日、本会議が早めに終わり、現場を見た。事情は、よくわかる。あまりにも水量が少ないものだから、滞留してしまうところもある。まず基本としては、水路は、開渠(かいきょ：上部にふたのない水路)が原則である。危険だとか、出入りをするとか、いろいろな事情で蓋をかけている例も少なからずある。あその水路は、つくって 40 年経つ。水路もかなりくたびれている。根本的にどうするか、若干難しい点もあるが、技術的に解決できない問題ではないと思うので、検討いたさせます。少し時間ください。</p>	<p>道路事業部 健康福祉部 環境部</p>
37	<p>【高尾駅南北通路の無料化】</p> <p>高尾の駅の南口と北口、無料化にできないか。</p> <p>(峯尾 仁)</p>	<p>高尾駅の通り抜けをされる方に、定期券みたいなもので、負担もしていただく。行政のほうでも一定の負担もさせていただく。JR、京王にも協力をしていただくことができないか、協議をしている。駅の橋上化、南北自由通路をつくること、これが根本的な解決。鋭意進めているが時間がかかる。</p>	<p>まちづくり計画部</p>
38	<p>【高尾山の急病人へ救命ボランティアの活用を】</p> <p>高尾山の急病人が多いので、看護師と救命のボランティアでいろいろとつくりたい。いま検討して、8月の15日までに結論出したいと思っている。</p> <p>(峯尾 仁)</p>	<p>高尾山のいわゆる急病人とこのボランティア。けが人とか体調悪くなられた方は、高尾署と八王子消防署にレスキューがある。この専門家に、任せたいと思う。(専門的な)判断等もあるから、それが一番適切だろうと思う。</p>	<p>生活安全部</p>
39	<p>【小金井市ごみ処理場への支援について】</p> <p>小金井市は、独自のごみ処理場がないために、現在大変に困窮している状態だ。市長として、来年3月まで支援するというように発表されたが、それ以降はどうするのか。私は個人的に、解決するまでは、支援をお願いできないかと思っている。もう一つは、市長は、現在、多摩三地区の市長会の会長であられる。市長会々長として、この問題についてどう取り組まれるのか、この2点を聞きたい。</p> <p>(横沢 勝弥)</p>	<p>実は小金井市の問題は、多摩地域全域の問題として大変困った問題です。ごみの清掃工場が、故障や定期点検で停めなしゃいけないときに、お互いに助けあうよう、多摩地域を3つに分けており、それぞれ連携をとっている。八王子は小金井とはブロックが違う。同じブロックの人たちが、助けあいをしてきた。小金井が、年内に候補地が何とか決められそう。決められれば、同じブロックの中でこれから同志になる国分寺や、これまで</p>	<p>環境部</p>

発言 番号	要望要旨 (発言者)	市長答弁要旨	担当所管
		<p>引き受けたところもちゃんと条件が整うから、引き続き引き受けてくれることになっている。お手伝いをしているからといって、新たな手数料がかかるとか、新たな経費がかかることはまったくないので、御理解いただければと思う。私どもも、1日も早く解決できるように、いま東京都と連携を取りながら、一生懸命努力している。</p>	
40	<p><b>【老人クラブの活性化について】</b> 老人クラブだが、全国では人数もクラブ数も減ってきている。原因は、老人クラブにお誘いしても私はまだ老人ではないと拒否されたり、また社会活動の選択肢がふえてきた時代の変化もある。鎌倉市では、いきいき活動し明るい未来の光がそそぐ、をイメージして「みらいふる鎌倉」と愛称を付けた。八王子でも、従来型の老人クラブの活動を見直すことも必要だと思う。</p> <p>広報に市内の老人クラブの名称、所在地、連絡先などの一覧表や紹介記事を年に1回ぐらい掲載して、大いにPRして欲しい。</p> <p>(吉村 勝美)</p>	<p>確かに老人クラブは、いま組織率が低下している。老人クラブの名称ということよりも、私は、老人クラブ連合会の総会や講演会にはお邪魔して、例えば、地域の大先輩の皆さんのお力を、地域の学校にお借りをして、地域の文化、歴史を子供達が学ぶ、そういう機会の手助けをしていただけないかと、こういうお話もしている。子供達が、ほんとにふるさと意識というか、郷土愛を育むきっかけにもなるんじゃないか。ぜひ、活動の範囲を幅広く考えてもらいたい。また活動の内容についても、より魅力あるようなものに、我々も一緒にお手伝いをさせていただきながら努力をしていきたいと思っている。</p>	健康福祉部
41	<p><b>【老人会への助成金について】</b> 老人会の活動を行うのには、お金が必要となる。頼りになるのが、八王子市からの助成金だ。ところが、毎年申請内容が大変難しくなっている。また、使い方も抑制が厳しくなっている。税金を使用するので、厳しくチェックされるのは当たり前だと思っているが、何分高齢者なので、簡単に申請ができないか、また、老人会の行動範囲は狭いものなので使い方も、あんまり抑制しないような検討をいただければありがたい。</p> <p>(峰尾 隆幸)</p>	<p>おっしゃることよくわかる。悩ましい問題である。補助金とはいえ、市民の皆さんの血税ですから、監査の対象になる。補助金の昨年の実績は、7,800万になる。総額ではそういうかなりの金額になり、監査の対象にもなるし、厳しい目で見られる。ですから、使い方は十分にその点留意をしていただかなきゃいけないが、手続き等についてはもうちょっと簡素に、老人会の活動そのものが停滞をするようなことになってはいけないから、検討するようにいま、指示している。少し時間ください。</p>	健康福祉部

発言 番号	要望要旨 (発言者)	市長答弁要旨	担当所管
42	<p>【高尾駅南北自由通路について】</p> <p>高尾駅の南北自由通路がいつ完成するのかが、地域住民の最大の関心事だ。既に、約束はいただいているけれども、最近の経済環境を考えると、地域住民の中からは、本当に市は、事無くやってくれるんだろうかなど、さまざまな心配を抱えている住民が、たくさんおいでになる。その意味で、市長から直接この件について、現状並びに見通しについて、力強いメッセージをいただきたい。</p> <p>(渡辺 良治)</p>	<p>凍結もしてないし、必ずやる。南北自由通路だけでもやろうじゃないかと、スタートした。しかし、大変古い駅舎の改良をして、橋上駅化をすると、これが一番良いだろうということで、少し段取りが遅くなった。具体的には、先月の15日にJRと協定を締結した。工期も含めて、来年の2月の時点で、JRのほうから概算の工事費であるとか構造であるとか工期であるとか、そういったものが示されると思う。いずれにしても、我々も大きな課題として取り組んでおり、必ずやる。</p>	まちづくり計画部
43	<p>【不法投棄 管理カメラ作動中の看板設置】</p> <p>裏高尾地区は行き止まりの道路で、昔から泥棒のプロは入ってこないと言われてきた。しかし最近、高尾山の観光客が増加し、ごみの不法投棄など多くの心配がある。そのため、地元消防団、高尾警察、市役所など多くの方に夜間もパトロールを実施していただいている。裏高尾地区全体の防犯のため入口の駒木野地区または駐在所の近くに、「この先不法投棄監視カメラ作動中」の看板、また監視カメラの設置を提案する。</p> <p>(峯尾 丈士)</p>	<p>地域の皆さんにも御協力いただいて、青色灯のパトカー走らせていただいている。この台数はもう100台を超えた。これは警視庁管内で一番だ。それだけ地域の皆さんが、防犯活動に熱心に取り組んでいただいている。安全・安心のため、御努力をいただいていることであり、大変素晴らしいことだし、その効果は確実に出ています。大変ありがたい。不法投棄の監視カメラ、これは確かに効果がある。ですから地域で、こことここにとつというようなお話をいただければ、私どもも協議させていただき、やります。</p>	生活安全部 環境部
44	<p>【路線バス運行要望】</p> <p>南浅川町会は、路線バスの運行を要望したい。3年ほど前までは、京王バスが6時台、7時台、8時台と走っていた。現在では、神奈中さんのバスが、9時発だけということになっている。何としても町を残していくためには、少なくとも老人用の医者に行くバスと、その時間に間に合う、8時台の時間帯で1便だけでもいいから、何とか路線バスの増便を認めて欲しい。</p> <p>(高橋 保)</p>	<p>増便というのは難しいと思う。ただ、神奈中に増便をしると言っても、まず不可能だと思う。ほかの地区でも一番頭の痛い問題の一つ。同じように人口減少地域がある。地域で半分お金を出し、市でも半分出すとか、コミュニティバスみたいなもの、あるいは定時で走るタクシーとかを代替に使うとか、いまいろいろテストをやっている。規制緩和が行われた結果、バス路線を廃止する場合、通告だけでできる。そういうふうには制度が変わった。これは全国的な問題。国でも、公共交通の確保のためにどう支援をできる</p>	まちづくり計画部

発言 番号	要望要旨 (発言者)	市長答弁要旨	担当所管
		か、いま検討してくれている。いま市内の他地域でも試みをしているので、ぜひ相談しましょう。まず、地域をまとめてください。	
45	<p>【圏央道に伴う裏高尾地区の環境問題について】</p> <p>圏央道に伴う裏高尾地区の環境問題について、特に新井地区は、直接的な影響を受け住民要望も多岐にわたっている。先に出させていただいた要望書の回答は、一定の評価をしているが、納得できるものではない。シェルターの設置希望に対し、回答書では、3メートルの遮音壁の設置となっている。大気についても事後、アセスによる測定を行い見解を添えて、交渉すると言われていた。住民としてはデータの説明だけでなく、市が独自の調査を示し住民の心配を払拭して欲しい。</p> <p>(水野 康直)</p>	<p>環境測定データだが、市の環境担当も一緒に、これを見る。それで信頼をしていただけるようなものだとことを確認させていただく。これで御安心いただけるんじゃないかと思う。シェルター問題。一貫して当局は、3メートルの遮音壁で、皆さんの御要望には十分答えられると、これの一点張りだ。私も御承知のとおり、東京都の圏央道の建設促進協議会の会長をやっているから、裏高尾の皆さんの御協力いただかなかつたら圏央道はできない。そういう点で大変感謝をいたしている。シェルターの問題については、どうも若干の隔たりがある。ちょっと様子見ましょう。</p>	まちづくり計画部
46	<p>【初沢町の地番整理について】</p> <p>現在私が住んでいる初沢町の1,429番地には、約500の枝番号が付いている。枝番号に規則性がない。枝番号によって当該場所を特定することは非常に難しい現況だ。できるだけ早期に、地番整備をすべきだと考える。</p> <p>(江間 敏男)</p>	<p>これも実は、難しい問題だ。いわゆる住居表示です。これは、その地域全体でしかできない。未開発地域があつて、今後開発の可能性があるところは、また今度、地番が飛んでしまう。ですから、一応整理が付いたところでないと、できない。</p>	市民部 まちなみ整備部
47	<p>【市職員の地元への貢献度評価について】</p> <p>市職員の多くは市内に在住していると思うが、地域における諸行事に非協力的な人が多く困っている。また、現在、町会役員の成り手がなくなっている。まちづくりの推進・町会運営に地元市職員の御協力をぜひお願いしたい。それには、市職員の人事評価の中に地元貢献度評価項目を設け、地元町会長等に評価させるという案はいかがか。</p> <p>(串田 孝義)</p>	<p>私は職員に、市民の皆さんの目線であることをいつも話している。そのためには、地域に溶け込まなきゃいけない。八王子にいま、消防団っていうのは1,483名いる。その中に、職員が、60名いる。それだけ地域活動に参加するようになってきた。それから、何人も、育成会会長がいる。地域活動への参加を、評価の対象にするのは、難しい。個人差があるから、そこまでやるっていうのは問題が出てくると思う。</p>	総務部 市民活動推進部

発言 番号	要望要旨 (発言者)	市長答弁要旨	担当所管
48	<p>【災害対策や防犯のために、住民の把握と町会・自治会の活用】</p> <p>個人情報保護法の関係で、町会や自治会に未加入者が、把握できないという問題がある。例えば、町会3役をコミュニティ調査員みたいなかたちで、年額2万4,000円ぐらいの報酬出して非常勤公務員として、情報交換が行政とできればいいんじゃないかと思う。</p> <p>(鈴木 省司)</p>	<p>個人情報情報を悪用されるケースもあるから、神経質になるということも、やむを得ないことだと思う。しかし、弊害のほうも多くなっている。これは何とかしなきゃいけない。いま民生委員の方がお骨折りいただいて、そういう情報をまとめた。町会としてそれを活用していただくとか、相談して欲しい。</p>	市民活動推進部 健康福祉部
49	<p>【山の有償ボランティアについて】</p> <p>八王子全体の山間部の樹木の管理を、しなきゃいけないと思う。しかし、土地の所有者は、儲からないからやれない。やっぱりボランティア活動で、やるしかないと思う。有償ボランティアで、報奨費が出ていいんじゃないか。浅川中で私たちがやっているのは、思いがあるからそれはただでいい。山の有償ボランティアについて伺いたい。</p> <p>(鈴木 省司)</p>	<p>山の管理。これも八王子は60%が山。木材を切っても商売にならないというので、結局下草刈りもやらなきゃ間伐もやらないというようなことで、荒れてしまう。無償でボランティアじゃ、ちょっと荷が重すぎる。必要な面もよく承知をしている。これはちょっと、鈴木さんには申し訳ないけど、必要性はわかるから、研究課題にさせて欲しい。</p>	産業振興部
50	<p>【目減りする通貨について】</p> <p>「目減りする通貨」は、経済危機を救う唯一の方法だと確信している。「目減りする通貨」500円券を450円で売る。それで毎月1%、5円ずつ目減りしていったら10カ月で450円になったところで、最初に450円で売って預かった450円と交換して終わる。ぜひ小さな規模でもやるべきだと思う。</p> <p>(内藤 晃一)</p>	<p>いい御提案なのか悪い提案なのか、私はちょっと、コメントがしにくい。おっしゃることは少しわかるような気がするが、あまりにも唐突なもの。行政がやるものではないというお話もあった。ぜひ、民間の団体でやっていただく、内藤さん中心になってやってもらいたいか。</p>	産業振興部
51	<p>【民生委員の調査結果の町会等提供】</p> <p>民生委員の森です。いま市長が最後に、我々が一人暮らしの調査をしているという話で、その調査の結果を聞いたらどうかというふうなことを言ったと思う。我々は一切、出さない。市当局にしか出さない。それだけは、理解をちゃんとして欲しい。</p> <p>(森 秀三)</p>	<p>もちろんそう。勝手に、民生委員の方にお願ひしてということには、当然ならない。これは市が当然責任を持って管理をしなきゃいけない。町会とかそういうことで必要があれば、市と相談してみたいと、さっき話した。そういう認識でいる。</p>	健康福祉部



## 【西部地域】

平成 21 年 6 月 20 日（元八王子市民センター）

発言番号	要望要旨 (発言者)	市長答弁要旨	担当所管
52	<p>【関東太鼓合戦出場枠と和太鼓への市の支援について】</p> <p>八王子まつりの関東太鼓合戦の出場者について、窓口である、コミュニティ振興会が、八王子市の太鼓連盟のほうに丸投げし、太鼓連盟では連盟所属の団体を中心に選出している。場所的にまだスペースがある。行政あるいは、市長のほうで推薦する枠を、1箇所・2箇所、選定してもらえないか。また、練習場所を斡旋してくれるとか、市が主管する和太鼓の行事をやってもらえないか。 (和田 保)</p>	<p>丸投げというよりは、主管団体として八王子太鼓連盟の皆さんが、取り組んでいただいている。加盟しなくても参加していただいている方もおられる。市の枠をつくるということは、全体のバランスもあり、いま考えていない。出場希望等については、八王子太鼓連盟に、ちょっとお話ししておきます。</p> <p>練習場所というお話もあったが、いま練習場所を斡旋するような余裕はない。</p>	市民活動推進部
53	<p>【子どもを持たない人へ経済支援を】</p> <p>子どもを持ってなかった人たちに対する経済的な支援をして欲しい。例えば流産してしまった方に対して御見舞金として、1回1万円なりの現金支給をすとか、そういうようなことを前向きに考えて欲しい。 (谷 修男)</p>	<p>例えば流産に対して1回1万円を補助するとか、御見舞金を出すという例は無いし、また八王子市もそれは考えていない。お気の毒だし、同情もいたしますが、これに対して御見舞金を出すというようなことは、納税者の理解も得られないと思う。</p>	健康福祉部
54	<p>【自治会へ経済的支援を】</p> <p>経済的に苦しい自治会町会が、あると思う。それらに対して、市のほうから経済的な支援をして欲しい。</p> <p>市民プールの跡地、フットサルの施設が、もしあまり利用されてなければ、市民の方の交流の場所を造ることを提言したい。 (谷 修男)</p>	<p>町会自治会のイベントには、本市でも、一定の基準はあるが、補助はしている。</p> <p>プールの跡地、フットサルの施設だが、時代のニーズに合った施設に転換をしようということで、熟慮の上、フットサル場にした。我々の想像をはるかに超えるだけの利用率がある。</p>	市民活動推進部
55	<p>【松枝橋の改良工事について】</p> <p>松江橋から四谷の交差点にかけての渋滞が非常に激しい。橋の改良工事がいつごろできるのか、またどの程度のものができるのか、尋ねたい。 (浦野 節郎)</p>	<p>松枝橋の架け替え、拡幅。いま東京都が、鋭意努力している。工事の内容は、現在、車道が6メートルが、車道は両側で、幅員20メートルになる。それから、歩道も当然のことながら広く取る。完成用途は、工事が濁水時期しかできないこともあり、5年から7年後ということになっている。</p>	まちづくり計画部
56	<p>【高尾駅の南北通路について】</p> <p>高尾駅の南北通路はできるかという話は以前から聞いているが、どの程度の</p>	<p>結局、駅舎の改良、駅前広場の拡張、これも含めてセットでやろうということになった。駅のほうは、調査委託をJRに出</p>	まちづくり計画部

発言 番号	要望要旨 (発言者)	市長答弁要旨	担当所管
	<p>ものがどのようにしてできるのか。当然、伴う高尾駅前の改良工事についても含めて説明を聞きたい。駅舎は、ある程度の文化財みたいな形になっているのか。</p> <p>(浦野 節郎)</p>	<p>しており、ＪＲ東日本から、近いうちにその結果が出てくると思う。それにより、来年度以降、着工となる。したがって、今、何年かかるということを申し上げる段階ではない。南北自由通路で、お困りになっている高齢者の方もおられるので、ＪＲのほうで、例えば南北を自由に行き来できる定期券のようなものを出してもえないか、交渉も進めている。半分ちょっとぐらい市で負担、利用者の方にも、負担していただくことを前提で、話を進めている。駅舎を、何らかのかたちで、活用しようということも、検討している。</p>	
57	<p><b>【都立小児病院の存続を】</b></p> <p>都立小児病院は、身近なところにあってこそ役に立っていると思う。都立八王子小児病院をどうしても残してほしい。府中にはNICUが24床、ドクターカーが2台備えられるということだが、三多摩では80床から100床が必要とされている中、たった9床の増床にしかなっていない。この広い地域にドクターカーが2台でどうやって子どもの命が守られるのか。八王子に小児病院を残してドクターカーやNICUもほんとは残してほしい。今の市のスタンスで、八王子の子どもたちが守られるでしょうか。</p> <p>(藤田 イツ子)</p>	<p>一番肝心なところだが、医師がいま少なくなってしまった。そのことを抜きにしてこの問題は語れない。東京都では、いわゆる三次医療を中心に、高度な小児医療を、八王子の小児病院と、清瀬と世田谷の小児病院の3つを統合して、府中に総合的な小児医療センターをつくると都議会でも決まった。来年の3月いっぱいには向こうに移転することになっている。だから、我々は、なくなったあとをどう最大限カバーするかという視点から、小児病院が抜けた部分を補完していく体制をつくるために、ただで、小児病院の場所を出してくれなど強く東京都に要請している。平岡でやっている夜間診療も、小児病院のほうに移転しようと思っている。市内の小児科のお医者さんの協力や東海大、東京医大も分担していただく。子供たちが守られる守られないという論議でなく、守るような努力をしなければいけないと私は思っている。</p>	健康福祉部
58	<p><b>【民生委員の人員確保を】</b></p> <p>高齢者のお一人暮らしが市内のパーセントですと19.7%のところ、館が丘団地については34.9%という、高齢化が急速に進んでいる地域である。孤独死という</p>	<p>民生委員になっていただき、大変助かっている。館が丘、ずっと民生委員の方がおられなくて、一番の課題の地域だった。一人暮らしの高齢者の調査について、いまの方法は改めなきゃならないと思っている。</p>	健康福祉部

発言 番号	要望要旨 (発言者)	市長答弁要旨	担当所管
	<p>問題が、とても大きな問題だと思っている。どうしてもそれは、阻止したい。そのために、実態調査がまずは大事だろう。定員は4人の民生委員が必要なところ、いま私一人です。早急に調査の必要を認めてもらい、人員の確保をお願いできないか。</p> <p>(苗村 昭子)</p>	<p>一斉にできる地域と、できない地域とがある。ですから、調査の方法を考えなければいけないということは、私も担当も、また民生委員協議会でも、同じ考えた。本当は館が丘団地でも、定数4人ということで、あと3人になっていただく方がおられればいいが、それがなかなか難しい。いまの方法、考えたい。</p>	
59	<p>【ドクターカーの配置を】</p> <p>(小児病院移転後)ドクターカーだけは置くんだという話で、ずっと進んできたと思う。ところがここへきて、ドクターカーも向こうに2台しかない。いまの医療が低下しないためには、ドクターカーを、何ヶ月か、1年間でも、置けるようなかたちで最低でもやってもらわないと、医療はどんどんこれから落ちていくし、命も守れないというふうになるんじゃないかと思う。ぜひドクターカーを置いてもらいたい。</p> <p>(藤田 建光)</p>	<p>できる努力はする。私どもも、子どもさんの命が危うくなるようなことは、絶対に避けなきゃいけないというふうに思っており、全力で我々は取り組む。ドクターカーを1台置くには、どれだけの人がいるか御存知か。ただ車を置けばいいのではない。ドクターカーを置くには3交代で、その分の医者を必ず確保しておかなければならない。医者全体の数は、増えている。けれども、産科と小児科の医者は、圧倒的になり手が無い。これが現状である。結局、八王子も清瀬も府中も、3つの病院がきちんとした機能を維持できるような状況じゃなくなってきた。だから府中のほうに置いて、いま1台あるのを2台にふやしてということで、進んでいる。</p>	健康福祉部

発言 番号	要望要旨 (発言者)	市長答弁要旨	担当所管
60	<p>【パソコントレード等の公的講習が受けられる場を】</p> <p>パソコンを使って株式などの投資をやるには、パソコンを勉強する必要がある。残念ながら、市内には、安く使えるパソコンを備えた場所がない。ぜひ八王子の駅の近く、公共的な場で、パソコンを 10 台ぐらい揃えて使えるような施設を、つくってもらえないか。パソコン教室を証券会社が、使いたいという話については、使用を認める余地が、あるのではないか。また、いろいろな応用講座を、駅の近くで勉強する機会がほしい。</p> <p>(納土 伸男)</p>	<p>オンライントレード講習を、行政がやるということは考えていない。パソコンの講習教室は八王子でもやっている。今年 25 講座、延べ約 60 回開催を予定している。生涯学習センターではサークル活動等で使用するパソコンも、12 台あり、無償で館内で使用できる。講習会も、積極的に開催している。それを、しっかり PR もしていきたい。営利を目的として施設は使えないが、個人あるいは団体が借りて、講師を呼んで勉強するのなら使える。パソコンの講習会も、こども科学館でも、駅前の生涯学習センターでもやっているの、御活用いただけると思う。</p>	<p>総務部 生涯学習スポーツ部 産業振興部</p>
61	<p>【市管理職による地域サポーター制度を提案】</p> <p>市の職員、主に管理職の方の、地域の担当者制度を是非、作って欲しい。自治会と市のパイプ役として、自治会の要望を市に伝えたり、連絡事項を住民に伝えたり、具体的に自治会の会合に出席し、住民から出されている苦情、問題等現状を、市のラインに乗せて市役所と住民の距離を縮め、無駄のない行政を作って欲しい。</p> <p>(名児耶 博)</p>	<p>現実的には厳しいと思う。八王子には、557 の町会自治会がある。管理職が 170 名。全部に張り付けると一人の管理職が、3 から 5 町会担当することになる。うちの職員は、非常に積極的に地域活動に参加している。8 割を超える職員が、町会自治会、PTA、消防団や子供会育成会で活動をしている。(地域担当者制度を行っている)自治体もあり、調べてみた。(ここでは)職員に、手当を出している。八王子で行うと 1 年に 10 時間として、2,000 万ぐらいかかる。費用対効果も考えたり、積極的に地域の皆さんと一緒に活動しているという実態から考えると、その必要性はないと思っている。担当の協働推進課も、何か問題等あったら御一報いただければ対応ができるようになっており、ぜひそれは御活用いただければと思う。</p>	<p>市民活動推進部 総務部</p>
62	<p>【職員の市民、職員相互への挨拶励行を】</p> <p>先週の半ばに私は市役所を訪問した。正直、すごく空気が暗かった。朝 9 時なのに、職員同士が廊下で行きあう際にも、挨拶もない。当然市民の私にも挨拶なしで、私に</p>	<p>私は、そう思ってない。よその自治体の職員に比べれば、まったく違うと思う。例えば、保健所と関係のある業界の方々が、都立の時代から八王子市立になってからこんなに対応が違うのかと皆さん驚</p>	<p>総務部</p>

発言番号	要望要旨 (発言者)	市長答弁要旨	担当所管
	<p>挨拶してくれた方は守衛さんごみの収集車の運転手さんだけであった。勤務中はやっぱり職員の方は市民の側を意識して、子どもたちでもできるような簡単な挨拶ぐらいはできるんじゃないかと私は思う。市民に対する奉仕の精神が発揮されていないがために、このような現状なのかと思う。職員相互の挨拶、来庁者への挨拶は、是非実行して欲しい。</p> <p>(名児耶 博)</p>	<p>いておられた。都議会議員の方が、驚いていた。それが特別なことじゃなく、八王子市のスタンダードだと思っている。挨拶は、立場を越えてお互いにするものだと思う。職員と顔が合ったときにおはようって言ったときに、職員がぷいっと外を向いてくるようだったら、私に言って欲しい。こういう職員は、私がきちんと指導する。いい気持ちで帰っていただけるよう、更なる努力はこれからもしていきたい、こう思っている。</p>	
63	<p>【町会自治会への老人情報の公開の必要性について】</p> <p>個人情報問題だが、防災関係で、一番問題になるのは老人の個人情報、町会ぐらいには情報公開してもらったほうがいいんじゃないかなという気がある。できれば個人情報は国の問題だが、これについてひとつ取り組んで欲しい。</p> <p>(細井 衛)</p>	<p>個人情報問題は、私どもも非常に頭の痛い問題。いまは核家族化が進んで、そして高齢化も進んでいる。だから、高齢者だけの所帯、あるいは高齢者の一人住まいの方ってというのが、激増している。民生委員の方に、いま、リストをつくっていただいている。個人情報保護という問題から、そのリストを町会にお渡しをするのは難しいが、情報共有できることは、大事なことである。知恵を出し合って、お互いに情報共有できるよう、何とかこれ考えましょう。</p>	健康福祉部
64	<p>【道路の拡張】</p> <p>甲州街道のりそな銀行から暁橋に行く道が大義寺の角から暁橋までが狭くてなかなか広がらない。田町には広い道路があるので、田町の交差点から暁橋の間だと短いので、その間が広がったら非常に助かると思う。</p> <p>(内藤 晃一)</p>	<p>かつては都道だった。狭いのは私もよく承知をしている。ですけど、いまのところ計画に入ってない。駅前の道路が、ひよどり山までできたこともあり、計画がない。ただ必要だなというふうには思う。ちょっと時間かかる。</p>	道路事業部
65	<p>【下戸吹交差点の手押し信号を自動信号に】</p> <p>滝山街道は、ところどころ手押し信号がある。制限速度40キロだが、平気で60、70、80と飛ばして通る大型の車が行き交っている。手押し信号を、自動信号にすれば、多少なりとも、速度の減速になるんじ</p>	<p>信号の問題はすごく難しい。由木でタウンミーティングのとき、野猿街道に信号が多過ぎると言われた。ガソリンも無駄だし、排気ガスも多く排出するから、信号をもっと減らせと。必要なとき、渡るようにしなさいと、こういう話もあった。信号というのは、警察並びに公安委</p>	道路事業部

発言 番号	要望要旨 (発言者)	市長答弁要旨	担当所管
	<p>ゃないかと思う。下戸吹という手押し信号だが、ここが結構、地域の住民も、脇道から滝山街道へ右折、左折するときに、手押し信号なのでわざわざ車から降りて、手押し信号を押して通っている場合が多い。それで、特に、この下戸吹の信号を、自動信号に、取り替えてもらいたい。</p> <p>(大越 好和)</p>	<p>員会が審査をして判断をして、そして付けてくれる。要望は出せるが、警察、公安委員会の権限だ。新滝山街道ができ、大きい車がみんな通るようになれば、基本的には解決する問題。滝山街道のほうは、どちらかという和生活道路に近くなる。それを一日も早く、だから進ませるといことのほうが先じゃないか。</p>	
66	<p><b>【高尾山のトイレ設備の充実を】</b></p> <p>高尾山のトイレは非常に貧弱で、例えば稲荷坂を登ると、途中で1か所トイレがあるが、普通の神経では使えないような状態。山頂から城山のほうに向かうと、富士山の見えるきれいなところに、トイレがあるが、そこも非常に汚い。トイレをきちんとしないと自然を壊す原因になる。世界の高尾山と言えるには、そういう設備をきちんと整えないと、世界の笑い物になる。八王子が誇る高尾山だ。そういう面の設備の充実、これを八王子市でやるのか都でやるのかかわからないが、八王子市にあるのだから、その辺の整備をよろしくお願いしたい。</p> <p>(三枝 眞明)</p>	<p>私も十分認識している。なかなか山の上にきれいなトイレをつくるということとはそう容易いことではない。まず水が必要。本来なら下水道もきちんと入れたい。薬王院までは水道も下水道も入っている。山頂までは、現状は届いてない。東京都ともいま協議をしている。できるだけ早いうちに整備をして、お話があったような、世界の高尾山にふさわしい清潔なトイレを整備するということでは進めている。数年前から250万人の人が登ると言われてきた。NHKの報道では、これは世界一らしい。これがミシュランにより、もっと増えた。銀座の歩行者天国並み。だから当然のことながら、トイレが足りないというようなことになってきておる。清潔なトイレを一日も早く整備します。今年の正月は、元旦に、薬王院の水がなくなっちゃった。それで、東京都と市のほうで給水車を出して、それでピストン輸送した。</p>	産業振興部
67	<p><b>【官吏施設等々の減少と市民の自信】</b></p> <p>八王子は住んでいたい町ということで、かなり評価を受けている。聞くところによると、行政力も全国のトップクラスの機能を保っている。一方では、官吏施設等々がどんどんなくなって、市民としても何か自信がなくなっている、そんな状況もあると思う。ぜひ市民が、自信を持つようにして欲しい。もしかしたら非常に八王子のボラ</p>	<p>行政経営は、おかげさまで順調にしている。就任した当時よりも借金も減って、サービスも向上し、合理化も大変進んでいる。職員の数も、規模の同じくらいの都市で、市民当たりの職員の数は全国でもっとも少ない町の一つ。3年、4年ぐらい前になるが、行政経営率というのが全国一位という評価もいただいた。私もリーダーとして大変喜んでいる。</p>	市民活動推進部

発言 番号	要望要旨 (発言者)	市長答弁要旨	担当所管
	<p>ンティア力は、高いのではないか。ボランティアに関しての費用対効果、あるいは人件費として計算をしてみても非常に面白い成績が出るのかなと思う。一度行政のほうで、そのボランティアの活動を経済的な自彊（じきょう：自ら努め励むこと。）という観点で捉えて、報告して貰えたら、市民の自信につながると思う。</p> <p style="text-align: right;">(市川 和博)</p>	<p>裁判所がなくなったということは寂しいと思っている。しかし、あそこに、南大沢の法務局、税務署、労働基準監督署も入れ、市民の皆さんの利便性が高くなる国の合同庁舎をつくらうと思っている。公的な施設がよそへ行って、市民が自信をなくしているというお話があったが、私はそうは思っていない。どういう面で自信をなくしておられるのか。90%の方がこれからも八王子に住み続けたいという。隣接の都市と比較をすると驚異的な数字があるということからも、私は自信を失っていることにはならないと思う。やっぱり自分の町に誇りを持っていい町だと思っているからこそ、そして住みやすいと思っているからこそ、そういう数字が出るんだというふうに思う。いくつかの課題はある。しかし、市民が自信を失っているというようなことは、私はそれは同調するわけにはいかない。もし具体的にそういうことがあるならば、私はぜひ御指摘をいただければ、きちんと私は可能な限り対応していきたい。</p>	

## 6. 過去の提案等取り組み状況

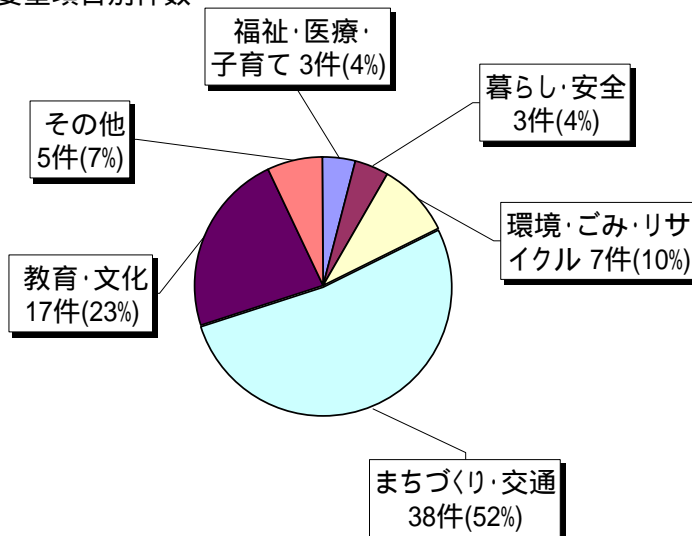
### 平成 20 年度 “タウンミーティング「市長と語る」” 提案等取り組み状況

テ ー マ わがまちの魅力再発見 ～八王子力をまちづくりに～

各会場の実績

開催日	会場 (ミニコンサート出演大学)	地域	地区	福祉・医療・子育て	暮らし・安全	環境・ごみ・リサイクル	まちづくり・交通	教育・文化	その他	合計
5月17日	市役所本庁舎 (東京造形大学)	中央	本庁	0	0	0	4	3	1	8
5月24日	由井市民センター (中央大学)	東南部	由井 北野	0	0	0	3	1	0	4
5月31日	由木東市民センター (中央大学)	東部	由木 東大沢	0	1	4	8	2	2	17
6月14日	恩方市民センター (創価大学)	西部	元八王子 恩方川 口	1	0	0	13	5	0	19
6月21日	横山事務所 (中央大学)	西南部	浅川 横山 館	1	1	2	4	3	0	11
6月28日	石川市民センター (中央大学)	北部	加住 石川	1	1	1	6	3	2	14
合 計				3	3	7	38	17	5	73

市政への要望項目別件数





## ご意見・ご提案をいただいたその後の取り組み状況の一例をご報告すると

平成 20 年 5 月 17 日・市役所本庁舎【中央地域】

< 意見 > 《西八王子について》

西八王子をなんとかしてほしい。

( 峯尾 仁 様 )

市長 八王子駅南口の次に高尾駅の整備をすることになっている。高尾駅は南から北に自由に行けない状況になっており、高尾駅と北口駅前広場の整備を計画している。南北自由通路も整備する計画をしている。西八王子駅は一方通行化して整備しようと考えている。駅と甲州街道の間の道も整備し、今、自転車がたくさん停まっているがバリアフリー化した歩道を設置する計画である。

【対応】 西八王子駅北口駅前周辺交通環境の改善については、平成 18 年 5 月より地元町会や商店会の方などが構成員となる協議会で改善策を検討しており、平成 19 年 2 月に「西八王子駅北口交通環境改善検討調査報告書」を作成している。

報告書にある基本コンセプトの「安全で人にやさしい西八王子」の実現に向け、歩行者・自転車に重視した安全・安心な道路整備を行うため、平成 20 年度には市道 289 号線（駅と甲州街道の間の道）の工事を実施し、平成 21 年度以降も報告書にある一方通行化や歩道改良、歩道設置などの整備を実施する。

平成 20 年度	市道八王子 289 号線	延長約 227m	道路整備（済み）
平成 21 年度	市道八王子 284 号線	延長約 300m	道路整備（予定）
平成 22 年度以降	市道八王子 285 号線	延長約 110m	道路・電線共同溝整備（予定） （一方通行化含む）

< 意見 > 《八王子力について》

八王子駅の南口が再開発され、玄関口が立派になると思う。八王子は何を核にするのか。「八王子力」というのは、今までの考えではいけないと思う。八王子には城・たくさんの名刹・古刹（寺）があり、八王子織物の絹、そして遺跡がある。芸能でいくと車人形がある。これら先人が残してくれた文化を中心として、核として、八王子が活性化していくのではないかと

( 橋爪 寛行 様 )

市長 八王子の魅力については同感である。まちは生き物である。固定化されたものではなく、産業構造も変わってきた。八王子が今、誇れるのは、ものづくりの企業が集積していることで、全国でも注目されている。これは素晴らしいこと。時代にあったものを、どう行政として支援していくのか。まちづくりに活かしていくのか。城や寺も素晴らしい。千人同心の歴史もある。これらをまちづくりに活かしていかなければならない。高尾の里づくりに取り組んでいる。22 年度までにやる。八王子の良いところを活かしたまちづくりを必ずしていく。

【対応】 歴史、文化、自然などをすべて本市の観光資源としてとらえており、「八王子まるごと

観光」を掲げ、八王子の魅力の発信及び観光振興に取り組んでいる。

平成 20 年 5 月 24 日・由井市民センター【東南部地域】

< 意見 > 《みなみ野遺跡について》

みなみ野では、39 か所で 1 万 6 千年前のものが見つかっている。200 人くらい入れる 23m もの大型住居が見つかり、これは東日本でひとつかふたつしかない貴重なものである。

御殿山窯跡群は、200 か所あるうち 73 か所見つかっている。この貴重な財産を子どもたちに伝えていくのは必要であると思う。この地域にあったものを考えるべきである。とても大事な教育ではないか。「湧水マップ」のように、地域の子どもたちに伝えていくことが大切。郷土資料館も古くなってきている。現物を見てもらうのが一番伝わる。

( 武藤 真啓 様 )

市長 貴重な提言をいただいた。私もその通りだと思う。地域を知るということで、子どもたちや新しく市民になった方が、ふるさと意識を持ってもらえる気持ちが醸成できる。非常に大事なことだと思っている。八王子は遺跡がたくさん出ている。それを、子どもたちに何らかの形で教育の中に取り入れることは、価値のあることだと思っている。郷土資料館はすごく大事だと思う。資料館は古くなってきた。資料が入りきれず、廃校になった学校を倉庫にして保管している。しかし、見てもらうことで価値がある。資料館は、いずれやらなくてはならないと思っている。ただ、優先順位がある。提案を活かせるよう努力する。

【対応】 市立小学校全校では、八王子の歴史に関する学習を必ず行っており、その際、遺跡等の見学を行っている学校もある。

郷土資料館では、みなみ野の発掘調査時に出土した遺物のうち何点かを展示している。また、遺跡マップを配布しているが、これをさらに充実させていく予定である。

< 意見 > 《自治会の会館について》

町会で一番困っているのが、自治会の会館がないことである。活動をしにくいということである。昨年のタウンミーティングの取り組み状況をみると、「ふれあいサロン」事業を行っていることを、初めて知った。私たちの町会にも是非ともそういう場をお願いしたい。

( 江頭 和昭 様 )

市長 みなみ野地区は、急激に人口が増え、活動の場が十分ではないということは、よく承知をしている。ただ、みなみ野地区を最優先にはなかなかできない。従前からある町会でも知恵をだしあって、皆さんが積み立てをして、一定の基準に応じて市が補助金をだして建て替えをしている例もたくさんある。市ができることには、限界と順序がある。「片倉集いの森公園」を整備する。その中で管理棟を設置するので、そこを使えるように整備し、当面の間、活用していただくということで、ご理解いただきたい。今のところ、各町会で会館を持つという段階ではないと思っている。

【対応】 片倉つどいの森公園の管理棟については、平成 21 年度工事の中で新設する予定。その後、基本的には町会が中心となったアドプト団体が管理することになる。会館としても利用できるように建設する予定。

また、「ふれあいサロン」は、高齢者が気軽に集える場を地域住民自らが提供することで、高齢者の外出機会の増加や引きこもりの解消を目的とした事業。これまで、社会福祉協議会において本活動を推進し、支援してきたが、本年度（20年度）より、本市においても支援事業をスタートさせた。

現在のみなみ野地区での活動を見ると、みなみ野君田小学校を拠点として活動する団体がある。また、支援事業においては、会場として有料施設を借り上げた場合の経費も助成の対象にするとともに、地域の高齢者相談機能を持つ「地域包括支援センター」においては、立ち上げや運営のお手伝いも行うので、お住まいの地域で活動をお考えの場合は、是非ご連絡願いたい。

平成 20 年 5 月 31 日・由木東市民センター【東部地域】

< 意見 > 《要援護者の避難支援について》

災害時における要援護者の避難支援について、お願いしたい。民生委員として、昨年来「災害時一人も見逃さない運動」を展開し、地域における要援護者のリストを、本人の同意を得た上で作っている。一日も早く、防災関係部局と福祉部局と合同で支援体制を作って欲しいというのが要望であった。先日、防災課の研修があり、これから地域に応じた具体的な対策を講じていくことがわかった。民生委員として、そのようなことをしていることを知っていただくことも必要だと思い発言した。さらに、連携について進めてほしい。

（坂本 睦枝 様）

市長 民生委員の皆さんは、地域福祉を考えた時、なくてはならない存在で、大変感謝している。個人情報保護がいきすぎていると感じることがある。地域によっては、自主防災組織が積極的に作り、地域で助け合いの態勢ができていく所もある。八王子市は 61% 自主防災組織ができており、東京都の中で最も高い数字である。ここで、「災害時要援護者避難支援プラン」を作成する。これは、高齢者・障害者に対する情報伝達・安否確認・避難誘導等の手引きとなるもので、今、進めている。平時から、要援護者情報を地域のみなさんと共有できて、支援するという態勢を構築することが大事だと思う。民生委員の皆さんの協力は不可欠である。是非、中心になってお力添えを賜りたく、お願いしたい。

【対応】 災害発生時における高齢者、障害者をはじめとする災害時要援護者の避難支援体制の整備推進を図ることを目的とした「八王子市避難支援プラン(全体計画)」を作成中である。平成 21 年 2 月、同プラン全体計画(素案)に対するパブリックコメントを実施。市民から寄せられた意見や庁内での検討事項を素案に反映させて、今年度内に全体計画を作成する。市民への周知は、広報平成 21 年 4 月 15 日号やホームページ等で行う予定。

来年度以降は、福祉部門とともに災害時要援護者一人ひとりに対応した「個別計画」を作成していく。

また、研修などを通じて、本人の同意があれば、要援護者の方の個人情報を関係機関で共有できる旨を職員に周知した。災害時等の非常時には、本人の同意がなくても共有することも合わせて周知した。

< 意見 > 《大学と市民の連携について》

大学と市民との関係をより密にして、学びたい市民、特に団塊の世代の人に大学を開放するよう連携を持つ。また、学生が市民の中に入り、お互いに真理を求め合う姿勢が大事である。

( 深澤 道則 様 )

市長 大学との連携は、積極的に行っている。例えば、八王子の市民大学である八王子学園都市大学(通称いちょう塾)がある。23の大学すべてが講座を出している本格的な市民大学は、八王子が初めてではないか。生涯学習の場として、これだけ多くの方が参加する市民大学は他にない。中学校の部活の指導の手伝い等、色々な角度でやっていただいている。また、外国人留学生3400名の方たちにも色々な協力をいただいている。まちづくりにも協力をいただき、八王子のことを理解していただく努力もしている。

【対応】 平成20年12月3日に実施した外国人観光モニターツアーに留学生の方にも御参加いただいた。また、平成20年11月16・22・23・24日に設置した高尾山臨時観光案内所において、杏林大・拓殖大の学生ボランティアに外国人観光客のアンケート調査や観光案内の通訳に御協力いただいた。

平成21年4月に学園都市づくりを統括する組織「大学コンソーシアム八王子」を設立し、効果的、効率的な事業を行っていく。コンソーシアムでは、大学の図書館、運動施設の開放拡大や学園都市大学「いちょう塾」の連携など、さらなる市民の生涯学習の推進を図っていく。

平成20年6月14日・恩方市民センター【西部地域】

< 意見 > 《街路灯の管理について》

街路灯の管理について、高照度型の街路灯への切り替えをすすめている。明るさが2倍になって、電気量が半分になるらしい。市が半分負担してくれる。街路灯の市の補助は、電気料は全額負担してもらっている。機器の交換や新設は、頭打ちがあるが半額市が負担するとなっている。町会の負担は大きい。町会を抜ける傾向がある中、町会に入っていない人は街路灯の負担がない。不公平な不平等な体制になっていることが、納得いかない。平等に負担する方法はないものか。街路灯の設置費用を町会が負担していることを知らない住民が多い。もっと宣伝をして、町会の加入をさせていく施策をとるとか、公平性を前に推し進められる方法を、市のほうでも考えて欲しい。

( 塚原 京史 様 )

市長 確かに町会に入っていない人は、こういうことを知らない。関心を持ってもらえない部分もある。理解をしてもらえるようにPRしてもらえないかという話もきている。もっと、町会自治会の活動の内容やどういうことに努力をしているのか等を、広報等でPRする。これは大事なことだと思う。八王子は幸いにして、地域コミュニティが確立をしている。よそのまちに比べると、非常に恵まれた地域だと思う。多くの人に参加してもらって、町会・自治会のあり方を理解していただき、協力いただくのは大事なこと。提案いただいたことをきちんと理解し、取り組む。

【対応】 「広報はちおうじ」10月1日号にて「特集：町会・自治会の活動」と題し、町会・自治

会活動に関する記事を掲載し、防犯灯の設置をはじめとした防犯・防災活動や文化ふれあい活動など、町会・自治会が担っている活動の大切さについて周知するとともに、町会・自治会への加入の呼び掛けを行った。

<意見> 《路上パフォーマンスできる場所について》

まちの魅力はいろいろあるが、芸術家がいるのはまちの魅力のひとつだと思う。市街地に、路上でパフォーマーが演じられる場所を造ってほしい。

(飯田 秀雄 様)

市長 まちの魅力は多方面である。新しい魅力をつくっていくことも大事なことだと思う。パフォーマンスができる場所、本当は北口のペDESTリアンデッキをもう少し広くすれば、私は残念に思う。そうすれば、あそこでイベントができる。健全な場所で、車にも歩行者にも影響がなく、歩行する人が楽しめる、パフォーマンスする人が一生懸命やれる。今、南口で整備を行っているので、南口は本当の意味でのデッキにしようと思っている。そこがイベント会場になる。

【対応】 八王子駅南口のペDESTリアンデッキについては、現在橋梁基礎部の工事が終了しており、平成 21 年度から橋梁本体工事に着手していき、平成 22 年秋の完成を目指している。また、このペDESTリアンデッキが市民に親しまれるよう広報等で愛称を募集したが、昨年 11 月に「とちの木デッキ」と決定している。

平成 20 年 6 月 21 日・横山事務所【西南部地域】

<意見> 《自治会の自主運行バスについて》

紅葉台自治会では、開発以来 30 年以上経過し、当初から公共の交通機関がなく坂道も多く高齢者も増え、バスの必要性が高まり、平成 14 年の 10 月から自治会独自で循環バスを運行している。今や自治会にとっては、なくてはならない足となっている。若干の赤字になっているが、業者の努力によって何とか運営を続けている。運営の存続にも苦慮している状況。今更なくす訳にはいかない。存続のために、市の支援・協力がいただけないか。

(片桐 亮 様)

市長 紅葉台自治会で循環バス自主運行されているのは、よく承知している。皆さんの努力に敬意を表したい。規制緩和の関係で、採算が採れないところはやめてしまう。車を持っている人が多く、バスを使わないため、維持が難しくなってきた。なくならないために積極的に活用しようという姿勢がない。運行が難しくなるのではないかと考えている。タクシーを活用するなど新しい方法に取り組んでみようと思っている。紅葉台自治会で循環バスを自主運行されているのは、大変苦労されているのだろうと思う。同時に、いつまでも続けられるかどうかは他の地域の例から見ても心配をする。どういうシステムを作るかというのはこれから考える。支援を出来るような体制を考えていきたい。そうしないとまたないと思う。これは考えてみたいと思う。検討させて欲しい。

【対応】 現在、交通空白地域の補助制度は、要綱作成をしている山間地域についてのみあるが、

21年度以降、市民に分かりやすい対策マニュアルや要綱を作成し、22年度からは、市が地域に支援出来るように検討していく。

<意見> 《石平道人<sup>せきへいどうじん</sup>の顕彰について》

石平道人こと鈴木正三は、非常に立派なお方であった。お墓が市の史跡の7号で指定されている。鈴木正三を顕彰すべきである。心を失ってきた現代に、もう一度良く顕彰しなければならない。境内に大きな古木があり、いつ倒れるかわからない。素人では切れないので伐採してほしい。

せっかく史跡になっているのだから、お墓の整備をお願いしたい。史跡に興味を持ってほしい。北条氏照の家臣であった井上出羽が呼んだ。18代目にあたる子孫の方も健在であり、ご一考願いたい。史跡として指定した市の最低の責任だと思う。

(篠原 清彦 様・福島 得治 様)

市長 今日の良い勉強をさせてもらっている。私も、今回の話をいただくまで石平道人のことを知らなかった。八王子には顕彰すべき大事なものがたくさんあるのだと改めて感じた。古木については、長泉寺の境内なので長泉寺に言ってほしい。危険性があるのであればなんとか処理をしなければならないが、管理が長泉寺なので勝手に切るわけにはいかない。長泉寺に言って、長泉寺から市のほうに話をしてほしい。現場をみて考えてみる。

【対応】 管理者である長泉寺からの補助金交付の申請を受け、史跡保護の環境整備として、枯れ木の伐採を平成21年度に実施する予定である。

平成20年6月28日・石川市民センター【北部地域】

<意見> 《八王子小児病院の存続について》

2010年3月で廃止予定の八王子小児病院を残してほしい。29年前は、障害のある赤ちゃんを診てくれるところがなく、御茶ノ水まで通った。八王子小児病院に専門医が来てくれ、障害をもつ子の親は喜んだ。その後、高尾駅南口の都有地に小児病院を移転拡充するという話があり、大喜びした。ところが都の態度が急変し、清瀬と世田谷の梅が丘と八王子小児病院を統合し、府中に造るという計画が発表された。本当にショックを受けた。昨年府中の小児病院医療センターの建設が始まったが、私たちはあきらめられない。何とかもう一度、市長が先頭に立って八王子・三多摩の子どもたちのために頑張してほしい。

(矢代 美知子 様)

市長 市長になって一番残念なのは、小児病院の問題。都議時代に携わっていて、90床を150床にして周産期医療が出来るような病院ということで、東浅川に場所を移し規模も面積も発表までしてくれたのが変わってしまった。産科・小児科の医者が極端に少なくなってきたことが背景である。今のままだと3か所ともギリ貧になってしまう。小児病院だけではなく、総合的に連携がとれるように府中に大型のものを造るということ。府中の病院は既に進んでおり、これはもう進めるべきであろう。後は抜けた穴をどうするかが課題で、今、全力で取り組んでいる。協議を進めており、近いうちに方向性が示せるのではないかと思います。

っている。

【対応】 都立八王子小児病院の移転は決定した。

しかし、移転後の八王子地域における小児医療をいかに確保・充実させるかを、東京都と協議を重ね、平成 20 年 9 月に基本的な方向性を示すことができた。具体的には、一次医療は市内の診療所が、二次医療は二つの中核病院が、三次医療は府中の小児総合医療センターが担うものであり、また、小児病院移転後の跡地を活用して小児外来診療や重度障害児の通所事業を新たに展開するとともに、夜間救急診療所を移転整備するもの。今後は、東京都と共に、この方向性に沿った小児医療の施策を、実行していく。

< 意見 > 《小・中学校の耐震補強工事について》

子どもが小宮小に通っていて、今、耐震補強工事を行っている。八王子市内の小・中学校の耐震補強工事の進み具合を教えて欲しい。

(内田 様)

市長 八王子はまだ 60%を切っている。今、大車輪で取り組んでいる。平成 24 年までには全部耐震工事は終えようと前倒しをし、100%耐震を行う。小学校が 70 校・中学校が 37 校・小中一貫校の高尾山学園があり、108 校である。東京都で最も多い。人口は 6 番目くらいだが、学校が一番多い。市街地で同様の地震が発生した時には、大きな被害が生じるということは目に見えてわかる。その時に一番身近なのは、小・中学校である。避難するには近いところにあり、校庭も広い。身近な避難場所が安全で安心できるような状況にあるということは、必須条件である。全力で取り組んでいるのでご理解ください。

【対応】 平成 20 年度には校舎の耐震補強工事を 3 校で、耐震設計された体育館の改築工事を 2 校で実施した。その結果、耐震化率は校舎が 73.83%、体育館が 31.77%となっている。平成 21 年度は、校舎 2 校、体育館 2 校の耐震補強工事を行うほか、校舎 21 校、体育館 19 校の実施設計、体育館 35 校の耐震診断・実施設計を行い、平成 24 年度に全校で耐震化工事が完了するよう、全力で取り組んでいく。

## 7. 会場配布資料

平成 21 年度 “タウンミーティング「市長と語る」” 資料

### 平成 21 年度の本市の予算について

市は、皆さんがいきいきと暮らしていけるまちの実現に向けて、さまざまな施策を展開しています。市が目標とするまちづくりの具体的な事業を、市の予算に表しています。

本年度の予算では、厳しい経済状況の中で限られた財源を有効に活用して、市民の皆さんの元気や活力を守るための取り組みを進めることとしています。

具体的には、緊急雇用対策と 5 つの重点項目（「魅力あふれる都市の創造」、「健康・医療、福祉施策の充実」、「環境にやさしいまちづくり」、「子育て支援と教育環境の充実」、「安全・安心な暮らしの確保」）を予算の柱とし、基本構想・基本計画「ゆめおりプラン」に掲げられた 6 つの都市像（『新しい時代にふさわしい創意にみちた協働のまち』『一人ひとりが大切にされ共助で築くふれあいのまち』『だれもがいつでも多様に学び豊かな文化を育むまち』『安全で快適に暮らせる心やすらぐまち』『魅力あふれる産業でにぎわう活力あるまち』『水とみどりを慈しむ地球環境にやさしいまち』）を具体化する施策を着実に推進します。そして、最少の経費で最大の効果をあげるという原点に立ち返りながら「元気なまち八王子」の実現をめざしていきます。

#### 緊急雇用対策

短期的な雇用策ではなく、企業を継続させることで長期的・継続的な「雇用の維持・確保」を図るという視点に立ち、独自の緊急雇用対策に予算を配分しました。（雇用維持奨励金制度を新設、事業資金融資あっせん制度の拡充、起業家の養成や育成事業の拡充、就職相談会の拡充 など）

#### 重点 5 項目

##### 魅力あふれる都市の創造

まちの発展の土台となる道路や施設などの都市基盤整備に、予算配分をしました。（八王子駅南口地区市街地再開発事業の推進、八王子駅周辺の交通環境の改善 など）

##### 健康・医療、福祉施策の充実

いきいきと健やかな暮らしを実現するため、高齢者等社会的弱者支援事業に予算配分しました。（都立八王子小児病院移転後の跡地を活用し、小児医療や障害児の療育事業など医療体制の整備、新型インフルエンザ対策 など）

##### 環境にやさしいまちづくり

環境に配慮した住みよいまちづくりのために、予算配分しました。（自然エネルギー発電装置を設置するなどの温暖化防止対策、廃プラスチック中間処理施設の建設 など）

##### 子育ての支援と教育環境の充実

子育てしやすいまちの実現と学校教育の充実のために、予算に配分しました。（小・中学校の地震防災対策、小・中学生の医療費の助成を拡充 など）

##### 安全・安心な暮らしの確保

多発する災害や犯罪に対する備えを強固にするため、安全・安心の確保に予算配分しました。（防犯指導の際に「振り込め詐欺抑止啓発通帳ケース」を配布、家具転倒防止器具の助成 など）



## 21 年度予算の概要

平成 21 年度の予算総額は、3 千 316 億円。前年度に比べて 4.6 パーセント増となりました。一般会計の予算額は 1 千 836 億円で、前年度と比べ 7.2 パーセントの増となっています。歳入のうち市税は、経済不況の影響で 21 億 8 千万円の減収。市税の減収は 16 年度以来のこととなりますが、市民サービスの確保と継続事業の着実な実施を図るため、基金からの繰入金を増額して税収の不足分を補いました。

## 主な事業

ここでは、緊急雇用対策と「八王子ゆめおりプラン」の都市像に沿って設定した、平成 21 年度の主な事業を紹介します。

( は新規事業、 はレベルアップなどを図る事業です。 )

### 緊急雇用対策

雇用維持奨励金制度の新設 5,144 万円

雇用維持の自助努力を行う市内中小企業に対し、奨励金を交付し、市内の雇用維持を図ります。

事業資金融資あっ旋制度の拡充 3,756 万円

中小企業の資金繰り対策の拡充を図ります。

#### その他の事業

雇用制度活用支援事業の新設...228 万円

起業家養成・育成事業の拡充...282 万円 など

### 1. 新しい時代にふさわしい創意にみちた協働のまち

中央地域新設総合事務所を整備 7 億 3,960 万円

平成 22 年秋に八王子駅南口再開発ビル内に開設する予定の中央地域新設総合事務所の整備を進めます。

#### その他の事業

軽自動車税の「コンビニ納付」を実現...331 万円

市役所本庁舎の改修...15 億 7,629 万円 など

## 2. 一人ひとりが大切にされ共助で築くふれあいのまち

都立八王子小児病院の移転にかかわる医療体制の整備	2,897 万円
来年3月に移転する都立八王子小児病院（台町四丁目）の跡地・施設を活用し、移転後の小児医療などの体制を確保します。	
介護予防事業などの充実	7 億 5,564 万円
地域包括支援センターの相談体制など機能の充実を図るとともに、介護予防事業を推進します。	

### その他の事業

新型インフルエンザ対策・・・	489 万円
義務教育就学児医療費助成・・・	2 億 5,396 万円
妊婦健康診査などの拡充・・・	2 億 9,273 万円 など

## 3. だれもがいつでも多様に学び豊かな文化を育むまち

新市民会館の整備	83 億 9,690 万円
八王子駅南口再開発ビル内に新たな文化拠点として、新市民会館を整備します。	
小・中学校地震防災対策	10 億 7,387 万円
小・中学校の耐震補強工事などを実施し、児童・生徒の安全を図るとともに、緊急時の市民の避難場所としての機能を確保します。	
ガスパール・カサド国際チェロ・コンクール支援	6,130 万円
11月から開催する「第2回ガスパール・カサド国際チェロ・コンクール in 八王子」とコンクールの周知活動への支援を行い、芸術文化の向上や国際化の推進を図ります。	

### その他の事業

戸吹総合スポーツ施設整備...	4 億 3,199 万円
中学校給食実施...	4 億 3,387 万円
小中一貫教育の推進...	5,663 万円 など

## 4. 安全で快適に暮らせる心やすらぐまち

西八王子駅北口地区自転車駐車場の整備負担金	5,100 万円
通勤・通学で利用者の多い西八王子駅北口地区で不足していた自転車駐車場を新たに整備します。	
家具転倒防止器具助成	8,310 万円
地震による人的被害を減らすため、家具転倒防止器具などを希望する世帯に配布します。	

#### その他の事業

- 八王子駅南口地区市街地再開発...23 億 3,164 万円
- 八王子駅周辺交通環境整備...1 億 9,545 万円
- 交通事故擬似体験を取り入れた交通安全教室...315 万円
- 高尾駅南北自由通路や北口駅前広場、市道浅川 83 号線の整備推進  
...2 億 3,933 万円 など

### 5 . 魅力あふれる産業でにぎわう活力あるまち

緊急雇用対策（再掲） 1 億円  
雇用支援の体制を強化するとともに、中小企業の事業継続や経営力の強化を支援する施策を充実します。

江戸東京・まちなみ情緒の回生 1,040 万円  
大正から昭和初期にかけて栄えた中町周辺の舗装を石畳風に改修したり、黒塀風の外壁塗装を行ったりして、まちの活性化につなげます。

#### その他の事業

- 企業立地促進・人材育成や技術向上などの産業支援...1 億 9,687 万円
- 環境保全型農業推進...275 万円
- 地場農畜産物の生産振興...3,750 万円 など

### 6 . 水とみどりを慈しむ地球環境にやさしいまち

路上喫煙対策 3,211 万円  
市内全域の路上での歩行喫煙禁止や路上喫煙禁止地区をより一層周知し、安全な歩行空間を確保します。

里山保全 34 万円  
里山の大切さを理解してもらうための講座や雑木林の手入れなどの自然体験などを実施します。

#### その他の事業

- 地球温暖化防止対策...1,057 万円
- 廃プラスチック中間処理施設の整備...6 億 8,966 万円
- 粗大ごみ処理券（シール）の 1 ポイント券を新たに発行など...8,497 万円 など

平成21年度

# タウンミーティング 「市長と語る」

## ふれあい・支えあい・助けあい

～ ご近所づきあいで築くまちづくり ～

地域の市民力をまちづくりに活かすアイデアを  
直接、市長にご提案ください。



ミニコンサート も開催しますので、お楽しみください。

お誘い合わせの上、お近くの会場へ直接お越しください。

### 開催日程

開催日	会場	時間
5月16日(土)	台町市民センター	午後6時40分～9時 (全会場共通)
5月23日(土)	由木中央市民センター	
5月30日(土)	北野事務所	午後6時40分～7時は、 チェロ演奏のミニコンサート を開催します。
6月13日(土)	浅川市民センター	
6月20日(土)	元八王子市民センター	
6月27日(土)	加住市民センター	



発言を希望される方や手話通訳を必要とされる方は、

開催日の1週間前までにお申し出ください。

【問い合わせ先】八王子市 総合政策部 広聴広報室(広聴担当) 電話: 620-7411 (直通) FAX: 620-7322

市ホームページアドレス <http://www.city.hachioji.tokyo.jp/>

## ミニコンサート開催日程

開催日	会場	演奏者
5月16日(土)	台町市民センター	木下 通子(チェロ) 荒川 智美(ピアノ)
5月23日(土)	由木中央市民センター	大谷 雄一(チェロ) 三田 悠仁(ピアノ)
5月30日(土)	北野事務所	橋本 専史(チェロ) 江川 智沙穂(ピアノ)
6月13日(土)	浅川市民センター	佐藤 有沙(チェロ) 田村 修平(ピアノ)
6月20日(土)	元八王子市民センター	黒川 悠一郎(チェロ) 荒川 直子(ピアノ)
6月27日(土)	加住市民センター	行本 康子(チェロ) 小西 斐子(ピアノ)



ガスパール・カサド国際チェロコンクール実行委員会の協力により、各会場でチェロのミニコンサートを行いました  
「音楽のまち」にふさわしい、素晴らしい演奏をしていただき、大変好評でした。

## おわりに

今回の“タウンミーティング「市長と語る」”では、参加者 642 名、6 会場で 56 名の方々から直接ご提案等をいただきました。また、各会場とも市民の皆さんからご熱心にお話をいただき、大変感謝申し上げます。

市では、いただいた皆さんのご提案等を真摯に受け止め、今後の施策への反映に努めていきます。

今後も、市民の皆さんと一緒にまちづくりを考える“タウンミーティング「市長と語る」”を積極的に展開しながら、地域の中で多くの市民の皆さんと交流し、ご意見等いただきたいと考えています。お近くの会場で開催した際には、ぜひご参加いただければ幸いです。



